

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地域特性等に応じた土地利用の推進	施策コード	61001	施策 主管部課	都市部 都市計画課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	適正な土地利用の実現			関係課	公園緑地課
	(3) 節の目的	快適でくらしやすいまちをつくるため、地区特性等に応じたきめ細かな土地利用方針を確立し、これに即した規制・誘導や良好な基盤整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	地区特性等に応じた適正な土地利用を実現するため、市街化区域では、都市計画で定める用途地域などの地域地区を適正に配置するとともに、地区の状況に応じて必要な見直しを行います。また、市街化調整区域では、自然環境の保全・創出に努めるとともに、新たな都市の発展を担う都市的土地利用について検討します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市域			
どういう状態に		地域特性等に応じた適正な土地利用が行われている				
(6) 施策実施上の課題と対応	都市計画では適正な土地利用の誘導を図るため、区域区分、地域地区、都市施設等を定めている。社会情勢の変化や、市のまちづくり方針、都市計画道路の整備進捗等を踏まえながら、適切な土地利用の見直しを行う必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 都市の発展を担う都市的 土地利用の実現した地区	指標として、都市の発展を担う都市的土地利用を実現した地区数を選定した。					
	(8) 指標の目標値 と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	地区	1	1	1	1
		実績値		1			
		達成率		100.00			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	44,091	11,822	3,429	0
	人件費	33,669	34,104	23,229	0
	合計	77,760	45,926	26,658	0
(10) 実績値 (千円)	事業費	15,215			
	人件費	33,669			
	合計	48,884			

施策を構成する事務事業

事務事業名	都市計画に関する情報の管理・提供				課名	都市計画課		
指標	都市計画情報に関するホームページアクセス件数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	11,167	目標値	12,000	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	19,509	達成率	162.58			予算額	18,376	5,655
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	15,019	5,655

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

都市計画法に基づく法定事務であり、事業の優先度は高い。

事務事業名	都市計画に関する総合調整				課名	都市計画課		
指標	関係各課との調整実施率（調整完了件数/相談・課題発生件数）				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	73	11,310
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	43	11,310

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市のまちづくりの基本に関する事務であり、優先度は高い。

事務事業名	都市計画の見直し（決定・変更）事務				課名	都市計画課		
指標	審議案可決率（可決件数/変更案件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	211	8,265
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	65	8,265

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市の都市計画の基本に関する事務であり、優先度は高い。

事務事業名	都市計画施設に関する建築規制				課名	都市計画課		
指標	届出のあった都市計画法第53条に関する申告書、都市計画法第53				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	20	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	11	達成率	110.00			予算額	89	3,045
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	88	3,045

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は都市計画法に基づく法定業務のため、事業の優先度は高い。

事務事業名	区域区分等に関する都市計画の見直し				課名	都市計画課		
指標	なし				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	0	単位	-	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0			予算額	0	0
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

区域区分の見直しは、地区特性等に応じた適正な土地利用の実現の根幹をなすものであることから、本事業の優先度は高い。

事務事業名	生産緑地事務				課名	公園緑地課		
指標	申出件数に対し適切に事務処理を行った件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	1,479
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,479

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

生産緑地法に基づく事務であり、今後も引き続き推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>少子・高齢化が進展し人口減少が続く中、我孫子市を持続可能な自立した都市として発展させていくため、住宅都市にふさわしい快適で暮らしやすいまちづくりや、まちに活力を生み出す土地利用を進めていく上で必要な施策である。</p>	<p>①～④ 本施策は、節の目標の根幹を成す手段であり、各事業は施策を推進する上で有効である。 ⑤ 行政が主導する施策であるが、方向性を新たに定める場合は、市民の意見が計画に反映できるよう努めている。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>都市計画で定める用途地域や地区計画、生産緑地地区などの、よりきめ細やかな土地利用方針について、今後も引き続き必要な見直しを進めていく必要がある。 新たな都市の発展を担う土地利用について、関係課が策定する計画及び事業の進捗に合わせて、必要となる都市計画関係手続や調整を進めていく必要がある。</p>	<p>①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。 ⑤ 提案型都市計画に係る情報を発信するとともに、制度活用のための準備を整えた。 ⑥⑦ 節の目的を達成するためには、更なる取り組みが必要であり、人員体制の強化が必要と考える。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	適正な規制・誘導施策の推進・運用	施策コード	61002	施策主管部課	都市部 市街地整備課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	適正な土地利用の実現			関係課	公園緑地課 農業委員会事務局
	(3) 節の目的	快適でくらしやすいまちをつくるため、地域特性等に応じたきめ細かな土地利用方針を確立し、それに即した規制・誘導や良好な基盤整備をすすめます。				都市計画課 建築住宅課
	(4) 施策の目的・展開方向	無秩序な開発を防止し、適正な土地利用を実現するため、都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例等に基づき、開発行為や建築行為の適正な規制・誘導を進めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	宅地開発等事業者に			
どういう状態に		開発行為や建築行為の適切な規制・誘導が行われている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子市開発行為に関する条例及び我孫子市開発行為等運用・審査基準は、実務の積み重ねなど、必要に応じて適宜見直すものとする。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 開発許可件数/開発許可申請件数	関係する法令及び条例等に基づいて適正かつ適切に規制の誘導が図られた割合を把握する。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100			
		達成率		100.00			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	28,652	17,728	18,027	0
		人件費	111,012	111,969	111,969	0
		合計	139,664	129,697	129,996	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	28,284			
		人件費	111,012			
合計		139,296				

施策を構成する事務事業

事務事業名	開発行為等の紛争に係る調停				課名	都市計画課		
指標	紛争解決率（あっせん申出に至らなかった件数/事前相談件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,175
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事業主と住民との調整によって紛争を未然に防止することにより、円滑に適正な土地利用の誘導が図られることから、事業の優先度は高い。

事務事業名	各種届出の受理及び指導業務				課名	建築住宅課		
指標	処理件数/届出件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	130	5,655
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	127	5,655

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事務事業に貢献しているため、今後も継続すべき事業である。

事務事業名	審査会及び審議会に関する業務				課名	建築住宅課		
指標	許可等の同意答申率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	94	3,480
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	21	3,480

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づき、設置が義務付けられている事業である。

事務事業名	長期優良住宅等の認定業務				課名	建築住宅課		
指標	認定処理率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	130	5,655
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	127	5,655

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法令に基づく認定制度であり、今後も継続して実施する事業である。

事務事業名	建築に関する指導および審査業務				課名	建築住宅課		
指標	確認及び検査の処理率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	13,299	10,005
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	13,296	10,005

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づく確認審査業務は、法に審査期間が定められているため、優先的に業務を進める必要がある。

事務事業名	建築基準法に基づく許可及び認定業務				課名	建築住宅課		
指標	処理率（審査交付件数/申請受付件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	130	2,175
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	127	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、建築基準法に基づく許可及び認定制度により、適正な土地利用を実施するという目標に不可欠な事業であるため今後も引き続き現状通り推進していく。

事務事業名	道路の指定に関する業務				課名	建築住宅課		
指標	道路位置指定率（道路位置指定件数/申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	2,697
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	2,697

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づく事務のため、今後も継続すべき事業である。

事務事業名	違反建築物の処置業務				課名	建築住宅課		
指標	是正率（当該年度違反是正件数/当該年度違反指導件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	33	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	3,480
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,480

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、違反建築物を未然防止・是正指導をしていくことで、快適で暮らしやすいまちを実現するという施策目的から、今後も継続すべき事業である。

施策を構成する事務事業

事務事業名	民間確認検査機関報告書の事務処理業務				課名	建築住宅課		
指標	各種報告書の審査・指導の処理率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,309	11,745
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,272	11,745

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づく民間確認検査機関からの報告であるため、必須な業務である。

事務事業名	墓地許認可事務				課名	公園緑地課		
指標	審査件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	0	1,305
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,305

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法律及び計画地周辺的生活環境や住民感情を考慮しながら、条例に沿った適切な許可事務を継続、推進していく。

事務事業名	公有地の拡大の推進に関する法律に係る事務				課名	市街地整備課		
指標	処理件数/届出件数、申出件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,610
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	2,610

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状通り推進していく。

事務事業名	国土利用計画法に基づく土地売買等届出書に係る事務				課名	市街地整備課		
指標	処理件数/土地売買等届出件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,610
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	2,610

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	違反宅地開発事業是正指導事務				課名	市街地整備課		
指標	是正件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	5	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2	達成率	40.00			予算額	92	8,265
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	89	8,265

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	都市計画法施行規則第60条に基づく建築証明事務				課名	市街地整備課		
指標	証明率（証明件数/申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	3,915
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,915

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	都市計画法第29条に基づく開発行為許可事務				課名	市街地整備課		
指標	許可率（許可件数/申請件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	66	13,920
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	66	13,920

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	都市計画法第32条に基づく開発行為事前協議事務				課名	市街地整備課		
指標	事前協議締結率（事前協議締結件数/事前協議申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	11,310
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	11,310

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

施策を構成する事務事業

事務事業名	都市計画法第43条に基づく建築許可事務				課名	市街地整備課		
指標	許可率（許可件数／申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	3,915
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,915

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	農地利用の適正化				課名	農業委員会事務局		
指標	耕作放棄地への利用意向調査及び違反転用の是正件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	18	目標値	30	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	37	達成率	123.33			予算額	4,800	7,830
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	4,800	7,830

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

農地法に基づく農業委員会の事務のため、引き続き事業を行う。

事務事業名	農地法3条・4条・5条の許可及び4条・5条の届出				課名	農業委員会事務局		
指標	申請、届出のあった適正な審査執行率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	6,720	4,350
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	6,720	4,350

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

農地法に基づく農業委員会の事務のため、引き続き事業を推進していく。

事務事業名	農業委員会の運営管理				課名	農業委員会事務局		
指標	適正な審議が行われる準備率（現地調査・資料の提供）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,882	3,915
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,639	3,915

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

農地法に基づく農業委員会の事務のため、引き続き事業を推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法及び建築基準法等で位置付けられている。 ③施策目標は、法及び条例に基づくものであり妥当である。 ④他の法令及び施策との連携を踏まえ施策の推進を図っている。 ⑤許可及び確認事務に関するもののため、市民との直接的な協働はなじまない。 ⑥財源配分は適切である。 ⑦人員配置は適切である。	①～④法令及び条例等に基づき実施する事業であり、妥当な施策である。 ⑤許可及び確認事務という行政処分等に係る事務の内容であることから、市民との協働はなじまない。 ⑥財源配分は妥当である。 ⑦人員配置は妥当である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法及び建築基準法等で位置付けられている。 ③施策目標は、法及び条例に基づくものであり妥当である。 ④他の法令及び施策との連携を踏まえ施策の推進を図っている。 ⑤許可及び確認事務に関するもののため、市民との直接的な協働はなじまない。 ⑥財源配分は適切である。 ⑦現状の事務事業では適切な配置である。	①～④節の目標達成のため法令、条例等に基づき実施する事業であり、妥当な施策である。 ⑤許可、確認という行政処分等に係る事業の内容であることから市民との協働は考えられない。 ⑥財源配分は妥当である。 ⑦人員配置は適切である。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地区の特性をいかした良好な市街地整備の推進	施策コード	61003	施策主管部課	都市部 市街地整備課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	適正な土地利用の実現			関係課	都市計画課 建築住宅課
	(3) 節の目的	快適でくらしやすいまちをつくるため、地域特性等に応じたきめ細かな土地利用方針を確立し、それに即した規制・誘導や良好な基盤整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	快適でくらしやすいまちをつくるため、地区の特性をいかしながら、地区計画や土地区画整理事業などの手法により、良好な市街地整備を進めます。また、施行中の我孫子駅前土地区画整理事業と布佐駅南側まちづくり事業の早期完了をめざします。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市域			
どういう状態に		良好な市街地が整備されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	地区の特性を踏まえた整備手法としては、地区計画を活用したまちづくりが有効と考える。そのため地区計画制度の周知を強化するとともに地区住民の発意による地区計画の促進に努める。 我孫子駅前土地区画整理事業については、換地処分により権利が確定したことから事業の完了に向けて清算金事務を行う。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 清算金徴収率	清算金徴収の完了後に、事業全体の完了手続きを行うため、徴収率を指標とする。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	95	97	99	99
		実績値		71			
		達成率		74.74			
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	189,653	711	711	0
		人件費	26,100	33,495	33,495	0
		合計	215,753	34,206	34,206	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	189,359			
		人件費	26,100			
合計		215,459				

施策を構成する事務事業

事務事業名	地区計画の推進				課名	都市計画課	
指標	届出のあった地区計画の審査件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	51	目標値	70	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	51	達成率	72.86			予算額	96
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	42

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

良好な住環境の形成を図る上で重要なため、引き続き継続する。

事務事業名	地区計画条例及び建築協定認可に関する業務				課名	建築住宅課	
指標	適合率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

地区計画条例項目の適合を審査することにより、地道ではあるが地区の特性を生かした良好な市街地整備に貢献していく。

事務事業名	土地区画整理事業の業務全般				課名	市街地整備課	
指標	土地区画整理事業に係る資料の提供・照会件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	356	目標値	360	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	242	達成率	67.22			予算額	20
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	15

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

過去の成果品に基づく画地確定図の交付については、法務局が公表していないこともあり、今後も需要は高いと考えられる。市街地の土地利用促進の面からも引き続き推進する必要がある。

事務事業名	我孫子駅前土地区画整理事業の推進				課名	市街地整備課	
指標	清算金徴収率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	95	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	71	達成率	74.74			予算額	189,532
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	189,301

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	我孫子駅北口土地区画整理事業の推進				課名	市街地整備課	
指標	清算徴収金の徴収割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	99	目標値	99	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	99	達成率	100.00			予算額	5
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	まちづくり事業の業務全般				課名	市街地整備課	
指標	まちづくり事業に関する問い合わせ処理件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

まちづくり事業の区域内の土地の売買や土地利用において、まちづくり事業の成果等に関する情報が必要であることから、今後も問い合わせに対応していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法及び土地区画整理法等で位置付けられている。 ③妥当である。 ④土地区画整理事業等有効な事業を実施している。 ⑤土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨定めがあるためなじまない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目標達成に効果的な施策である。 ⑤土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨定めがあるため、市民との協働は考えられない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法及び土地区画整理法等で位置付けられている。 ③妥当である。 ④土地区画整理事業等有効な事業を実施している。 ⑤土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨定めがあるためなじまない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目標達成に効果的な施策である。 ⑤土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨定めがあるため、市民との協働は考えられない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	公園の整備・充実と適切な維持管理	施策コード	62101	施策主管部課	都市部公園緑地課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公園・緑地の整備・充実			関係課		
	(3) 節の目的	公園・緑地の適正な機能と配置に配慮し、より身近で親しみやすい空間として整備するとともに、維持管理のしくみを工夫します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	公園・緑地が持つ機能に配慮し、市内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳などの歴史的・文化的資源を活用しながら、市街地で公園が不足している一部の区域において公園の整備を検討します。また、誰もが安心して利用できるよう公園のバリアフリー化を進めるとともに、主要公園における遊具の充実を図り、子どもたちも魅力を感じる公園づくりを行います。さらに、老朽化した公園施設の計画的な補修など適切な維持管理に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	公園・緑地				
どういう状態に		公園・緑地の機能と配置に配慮した整備がされている					
(6) 施策実施上の課題と対応	地域ごとの公園の設置状況を検証し、適正な配置に努める						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 公園の数	公園の配置の確認					
	② 公園・緑地の面積	公園・緑地の面積の拡大					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	箇所	222	223	224	225
		実績値		222			
		達成率		100.00			
	②	目標値	ha	150.6	150.65	150.7	150.75
		実績値		150.69			
達成率		100.06					
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	256,378	216,749	217,264	0	
		人件費	74,298	66,033	66,033	0	
		合計	330,676	282,782	283,297	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	209,046				
		人件費	74,298				
		合計	283,344				

施策を構成する事務事業

事務事業名	緑の基本計画の進行管理				課名	公園緑地課		
指標	見直した緑の基本計画での基本方針に則り、施策を実行する。				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	0	1,392
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,392

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

都市緑地法に基づく決定計画であり、緑を総合的かつ計画的に確保していく上で必要である。

事務事業名	市民の森維持管理				課名	公園緑地課		
指標	適切に維持管理された緑地面積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	3	目標値	4	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3	達成率	75.00			予算額	6,502	3,480
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	6,442	3,480

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

みどりを育て守っていくためには市民の協力も必要であり、貢献度は高い。

事務事業名	気象台記念公園の整備				課名	公園緑地課		
指標	公園の樹木育成管理率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	57	目標値	57	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	57	達成率	100.00			予算額	941	870
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	941	870

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

北側斜面上部にある樹木の健全育成のための剪定に努める。

事務事業名	公園のバリアフリー化推進				課名	公園緑地課		
指標	バリアフリー化修繕工事による快適な大規模公園数				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	10	目標値	11	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	90.91			予算額	31,944	2,175
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	396	2,175

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

今後も、バリアフリー化されていない公園を実施していく

事務事業名	公園施設維持管理				課名	公園緑地課		
指標	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	150	目標値	150	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	150	達成率	100.00			予算額	39,831	10,875
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	34,596	10,875

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

公園・緑地の管理を推進していく必要がある。

事務事業名	公園維持管理				課名	公園緑地課		
指標	多くの市民が快適に利用できるための公園維持管理面積				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	150	目標値	150	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	150	達成率	100.00			予算額	173,206	52,635
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	163,111	52,635

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

公園・緑地の管理を推進していく必要がある。

事務事業名	公園許可事務				課名	公園緑地課		
指標	都市公園内の行為、占用、設置管理の申請件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	342	目標値	400	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	244	達成率	61.00			予算額	0	1,305
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,305

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

コロナウイルス感染症への対応方法

事務事業名	公園の整備				課名	公園緑地課		
指標	公園候補地の検討・公園施設整備の検討				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	4	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	3,954	1,566
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,560	1,566

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

手賀沼公園の賑わいづくりのため、民間活力を活用した事業は必要である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①施策が有効な手段となっている。 ②市民ニーズに適合している。 ③妥当である。 ④施策を推進している。 ⑤配置の均衡は行政の責任として実施する必要がある。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④本施策は、節の目標達成に効果的な手段であり、各事業は施策推進に有効である。 ⑤行政が主導する施策である。 ⑥⑦財源配分、人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
樹林地や文化・歴史資源を活かしながら、公園を安全に適切に利用できるようにするための施策であり、目的達成に効果的な手段となっている。今後も公園等の適正な配置を検討していく必要がある。	①～④緑地・文化・歴史資源を活かしながら、市民が公園を安全に快適に利用できるようにすることを目的とした本施策は、部の運営方針、課の目標に沿っており、節の目標達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤行政が主導する施策である。 ⑥⑦節の目的を達成するためには、さらなる取り組みが必要であり、財源配分、人員配置の強化が必要と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	市民の自主的な活動への支援	施策コード	62102	施策主管部課	都市部 公園緑地課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公園・緑地の整備・充実			関係課		
	(3) 節の目的	公園・緑地の適正な機能と配置に配慮し、より身近で親しみやすい空間として整備するとともに、維持管理のしくみを工夫します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動を支援するとともに、公園管理における市民の自主的な活動を広げていきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	地域住民				
どういう状態に		市民による公園づくりや自主的な管理が広がっている					
(6) 施策実施上の課題と対応	より多くの市民参加を得るため、参加機会を創出するとともに、参加へのきっかけとなる情報の提供方法を工夫する						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市民手づくり公園の活動団体数	団体を増やすことが自主的な公園づくりの推進となる					
	② 市民手づくり公園の数	活動公園を増やすことが自主的な公園づくりの推進となる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	団体	10	11	12	13
		実績値		10			
		達成率		100.00			
	②	目標値	箇所	12	13	14	15
		実績値		12			
		達成率		100.00			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	2,252	2,252	2,252	0	
		人件費	3,480	3,480	3,480	0	
		合計	5,732	5,732	5,732	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	2,045				
		人件費	3,480				
合計		5,525					

施策を構成する事務事業

事務事業名					市民手づくり公園事業		課名	公園緑地課			
指標					既存活動団体の継続維持		政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	100	目標値	100		単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)			
実績値	100	達成率	100.00				予算額	838	2,175		
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	現状	実績値	691	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

既存活動団体の高齢化への対応

事務事業名					公園清掃（自治会委託）		課名	公園緑地課			
指標					多くの市民が快適に利用できるための公園清掃・管理箇所数		政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	70	目標値	74		単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)			
実績値	70	達成率	94.59				予算額	1,414	1,305		
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	現状	実績値	1,354	1,305

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

コロナ禍の中での対応を検討する必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①目的達成に貢献している。 ②市民ニーズに適合している。 ③妥当である。 ④施策を推進している。 ⑤既に進めている。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④本施策は、節の目標達成に効果的な手段であり、各事業は施策推進に有効である。 ⑤協働で推進している。 ⑥⑦財源配分、人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動の支援、自治会の公園管理を広げていきます。	①～④部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤地域住民の主体的な公園づくりや、公園の管理を自治会に委託するなど、市民と協働で実施した。 ⑥⑦財源配分、人員配置ともに適正であった。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	下水道施設の整備と維持管理	施策コード	62201	施策主管部課	建設部 下水道課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	下水道整備の推進			関係課		
	(3) 節の目的	衛生的で快適な生活環境を保ち、河川や沼の水質を改善するため、下水道の整備をすすめるとともに、その普及に努めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市街化区域の下水道未整備区域				
どういう状態に		下水道整備が進んでいる。					
(6) 施策実施上の課題と対応	下水道に対する社会資本整備総合交付金が削減している中で、下水道整備費及び管渠の老朽化に伴う改築更新等の財源確保は非常に厳しくなるため、今後の下水道事業のあり方は、財政規模に適した形で対応する必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 下水道の整備率	整備率を指標とすることで施策目標を数値化できるため。					
	② 下水道の普及率	施策の進捗が数値化できるため。					
	③ 重要な管渠の地震対策実施率	地震対策延長を指標とすることで施策目標を数値化できるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	57.3	57.6	58.3	59.2
		実績値		57.1			
		達成率		99.65			
	②	目標値	%	84.4	84.7	85.3	86
		実績値		84.6			
達成率		100.24					
③	目標値	m	50,177	50,177	50,177	50,177	
	実績値		19,057				
	達成率		37.98				
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	357,854	424,787	510,843	0	
		人件費	48,285	47,415	44,805	0	
		合 計	406,139	472,202	555,648	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	268,814				
		人件費	48,285				
合 計		317,099					

施策を構成する事務事業

事務事業名	社会資本総合整備計画の推進				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	367	目標値	367	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	367	達成率	100.00			予算額	0	5,655
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	5,655

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

公共下水道整備に必要な事業であるため、事業の優先度は高い。

事務事業名	排水設備の審査及び竣工検査				課名	下水道課		
指標	排水設備新設等確認申請書審査件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	477	目標値	530	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	477	達成率	90.00			予算額	18,345	1,740
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	17,622	1,740

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

下水道排水設備基準にあった適切な検査を実施し、災害等を未然に防止する。

事務事業名	汚水中継ポンプ場維持管理				課名	下水道課		
指標	ポンプ施設の維持管理を適切に行い、トラブル等で稼働停止を未然に				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	245	目標値	245	単位	日	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	245	達成率	100.00			予算額	8,776	1,740
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,053	1,740

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ポンプ施設の保守点検及びオーバーホール等を計画的に実施していく。

事務事業名	汚水管渠維持管理事業				課名	下水道課		
指標	下水道施設の市管理部分の苦情対応率（苦情解決件数/苦情件数）				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	51,423	3,045
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	50,966	3,045

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

下水道管渠の早急な修繕を実施し、災害等を未然に防止する。

事務事業名	総合地震対策事業（第Ⅲ期）				課名	下水道課		
指標	マンホール浮上防止工事、マンホールトイレ設置工事の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	40	目標値	40	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	40	達成率	100.00			予算額	71,995	3,480
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	22,413	3,480

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

下水道総合地震対策計画に基づき事業を進めており、優先度は高い。

事務事業名	湖北駅北口西側地区の整備				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	122	目標値	118	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	122	達成率	103.39			予算額	11,660	3,045
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	11,660	3,045

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区の下水道整備は、継続的に進めており、事業の優先度は高い。

事務事業名	下ヶ戸西側地区の整備				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	213	目標値	217	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	213	達成率	98.16			予算額	52,472	3,915
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	51,901	3,915

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区の下水道整備は、継続的に進めており、事業の優先度は高い。

事務事業名	青山地区の流域下水道への接続事業				課名	下水道課		
指標	圧送管閉塞工事の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	20	目標値	20	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	20	達成率	100.00			予算額	5,600	2,175
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	4,807	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

下水道管の破損が原因で交通障害等を引き起こさないよう圧送管、流入管の閉塞は必要なため、優先度の高い事業である。

施策を構成する事務事業

事務事業名	布佐駅東側地区の整備				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	160	目標値	161	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	160	達成率	99.38			予算額	19,067	2,175
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	18,557	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区は、地元からの下水道整備の要望が強く、事業の優先度は高い。

事務事業名	湖北駅北口東側地区の整備				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	39	目標値	39	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	39	達成率	100.00			予算額	16,915	2,610
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	16,415	2,610

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区の下水道整備は、継続的に進めており、事業の優先度は高い。

事務事業名	高野山地区の整備				課名	下水道課		
指標	関係機関との調整協議、現地調査の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	435
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	435

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区は、地元からの下水道整備の要望が強く、事業の優先度は高い。

事務事業名	下ヶ戸北側地区の整備				課名	下水道課		
指標	関係機関との調整協議、現地調査の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	435
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	435

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区は、地元からの下水道整備の要望が強く、事業の優先度は高い。

事務事業名	下水道ストックマネジメント事業				課名	下水道課		
指標	ストックマネジメント点検・調査業務委託の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	56,560	6,525
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	37,885	6,525

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

計画的な修繕・改築が必要なため、事業の優先度は高い。

事務事業名	久寺家汚水中継ポンプ場の圧送管閉塞事業				課名	下水道課		
指標	圧送管閉塞事業（協議・設計・閉塞）の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	10	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	100.00			予算額	0	435
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	435

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

久寺家汚水中継ポンプ場の運転停止に伴い、未使用の管渠を閉塞する必要があり、事業の優先度は高い。

事務事業名	久寺家1・2丁目地区不明水対策事業（N○5流域）				課名	下水道課		
指標	不明水対策事業（設計・補修）の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	20	目標値	20	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	20	達成率	100.00			予算額	4,000	3,045
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,157	3,045

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

下水道施設への不明水浸入は、公衆衛生上及び維持管理上の問題となっており、事業の優先度は高い。

事務事業名	新木野4丁目地区不明水対策事業 （送煙調査業務の実施）				課名	下水道課		
指標					政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	0	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0			予算額	0	0
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

不明水対策事業の優先度は高い。

施策を構成する事務事業

事務事業名 久寺家1・2丁目地区の整備					課名 下水道課				
指標 下水道実施設計業務委託の進捗率					政策・経常 <input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00			予算額	23,518	2,610	
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値	22,858	2,610

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

当該地区の下水道整備は、継続的に進めていく必要があり、事業の優先度は高い。

事務事業名 流域関連公共下水道不明水対策事業(第I期)					課名 下水道課				
指標 不明水対策送煙調査業務委託の進捗率					政策・経常 <input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	20	目標値	20	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	20	達成率	100.00			予算額	4,000	3,915	
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	3,520	3,915

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

下水道施設への不明水浸入は、公衆衛生上及び維持管理上の問題となっており、事業の優先度は高い。

事務事業名 柏市共用管の建設事業					課名 下水道課				
指標 共用管工事の進捗率					政策・経常 <input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	0	達成率	0.00			予算額	13,523	1,305	
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値	0	1,305

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

当該地区は、我孫子市と柏市の市境に位置し、両市が行う手賀沼流域関連公共下水道事業であり、地元住民からの要望により早期に整備を行う必要があるため、事業の優先度は高い。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> 下水道の整備率は、国の社会資本整備総合交付金の削減、市の財源減少等により財政規模に見合ったものとする。 下水道施設の維持管理は、不明水対策を含めた下水道施設の老朽化対策が急務であり、ストックマネジメント計画に基づき、予防保全型で事業転換していく必要がある。 地震対策は、下水道総合地震計画に基づき、令和2年度はマンホール浮上防止対策工事やマンホールトイレ設置工事を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の財政状況を考慮すると、今後の下水道整備率は緩やかな伸びとならざるを得ないが、快適な性格環境を確保するため、効率的な整備方針が求められる。また、不明水を含めた下水道施設の老朽化対策は重要な課題であり、限られた財源の中で効果的かつ効率的に維持管理を実施していく必要がある。 地震対策は、引続き小学校へのマンホール浮上防止対策工事とマンホールトイレの設置工事を実施していく必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> 下水道の整備率は、財源減少等により緩やかな伸びとなるが、引き続き効率的な下水道整備を進めていく必要がある。 下水道の維持管理については、ストックマネジメント実施方針に基づき、下水道施設を計画的かつ効率的に維持管理していくとともに、併せて不明水対策も実施していく必要がある。 地震対策は、「下水道総合地震計画」に基づき、緊急輸送路等に埋設された下水道の流下確保を目的としたマンホール浮上防止工事や、避難所に指定されている小学校にマンホールトイレを設置していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の厳しい財政状況の中、下水道整備率の大幅な伸びが望めないことから、限られた財源を有効活用し、今後も計画的に未普及地区の整備を実施していく必要がある。 既設下水道施設については、ストックマネジメント実施方針に基づき、下水道施設を計画的かつ効率的に維持管理していくとともに不明水対策に関する点検・調査を実施していく必要がある。 地震対策は、既存施設の耐震化と避難所に指定されている小学校にマンホールトイレの設置を着実に進める必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	下水道事業の健全経営の確保	施策コード	62202	施策主管部課	建設部 下水道課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	下水道整備の推進			関係課	
	(3) 節の目的	衛生的で快適な生活環境を保ち、河川や沼の水質を改善するため、下水道の整備をすすめるとともに、その普及に努めます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	下水道事業の健全経営を確保するため、未接続世帯への働きかけを行うことにより水洗化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収に努めます。また、地方公営企業法の適用に取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	下水道事業			
どういう状態に		健全に経営されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	現在は、財政規模に適した形で下水道整備を実施しているが、今後は公営企業会計の適用を実施し建設から維持への施策転換を図るとともに、下水道使用料の徴収率向上を目指し、自主財源の確保を図る。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 水洗化率	供用開始区域について排水整備の早期設置を促し、下水道の利用率を上げ、下水道使用料の増額を図る。					
	② 下水道使用料の徴収率	下水道使用料徴収率の向上を図るため。					
	③ 受益者負担金の徴収率	下水道受益者負担金徴収率の向上を図るため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	98.95	99	99.05	99.1
		実績値		99			
		達成率		100.05			
	②	目標値	%	99.1	99.15	99.2	99.25
		実績値		99.1			
達成率		100.00					
③	目標値	%	97.6	97.65	97.7	97.75	
	実績値		98.75				
	達成率		101.18				

財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,033,888	1,038,551	1,029,121	0
		人件費	68,295	53,505	53,505	0
		合 計	1,102,183	1,092,056	1,082,626	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,026,255			
		人件費	68,295			
合 計		1,094,550				

施策を構成する事務事業

事務事業名	水洗化の普及促進				課名	下水道課		
指標	利子補給件数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	2	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	118	1,740
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	59	1,740

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

公共下水道区域内では排水設備を遅延なく設置する必要があるため、事業の優先度は高い。

事務事業名	下水道排水設備指定工事店申請業務				課名	下水道課		
指標	指定工事店の指定期間満了による更新(申請)と新規の申請。				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	42	目標値	32	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	42	達成率	131.25			予算額	0	1,305
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,305

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

排水設備工事の適正施工を確保できるよう指定工事店関係書類申請に係る審査業務は重要である。

事務事業名	健全経営を優先した下水道計画の確立				課名	下水道課		
指標	下水道処理人口普及率:我孫子市内でどれぐらいの割合の人が下水道				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	84.6	目標値	84	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	84.6	達成率	100.71			予算額	377	3,045
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	275	3,045

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

今後も健全な下水道事業経営を維持できるよう、下水道計画を策定していく。

事務事業名	開発行為協議・区域外流入協議				課名	下水道課		
指標	開発行為事前協議回答と区域外流入許可の平均件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	15	目標値	5	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	15	達成率	33.33			予算額	0	4,785
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	4,785

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

開発行為や区域外流入の審査等は、許可を伴う業務であり、下水道整備において重要であるため、今後も引き続き推進していく。

事務事業名	下水道事業受益者負担金の賦課徴収				課名	下水道課		
指標	下水道事業受益者負担金の過年度滞納繰越額及び現年度賦課額に対する				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	94	目標値	94	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	94	達成率	100.00			予算額	1,076	4,350
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,031	4,350

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

法定通り、適正に執行した。

事務事業名	下水道使用料の賦課徴収業務				課名	下水道課		
指標	下水道使用料の過年度滞納繰越額及び及び現年度調定額に対する徴収				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	97	目標値	97	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	97	達成率	100.00			予算額	103,549	3,915
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	101,862	3,915

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

法定事業のため、着実に執行する必要がある。

事務事業名	予算・決算業務による経営分析				課名	下水道課		
指標	下水道事業の汚水処理費に対する使用料回収率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	89.5	目標値	89	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	89.5	達成率	100.56			予算額	2,895	12,180
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,895	12,180

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

下水道事業の経営状況を良好に保つため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	公共下水道事業供用開始				課名	下水道課		
指標	公示回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	880	3,480
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	880	3,480

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

法定事業である。

施策を構成する事務事業

事務事業名					流域下水道建設負担金の調整協議		課名	下水道課	
指標					千葉県との建設負担金についての協議回数		政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	1	達成率	100.00			予算額	33,673	1,305	
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	現状	
実績値							実績値	33,673 1,305	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
千葉県と協議しながら手賀沼流域下水道の整備事業を進め、汚水が適切に処理され、衛生的で快適な生活環境を形成し、公共水域の水質を保全するため今後も引き続き推進していく。									
事務事業名					流域下水道維持管理負担金の調整協議		課名	下水道課	
指標					千葉県との維持管理負担金についての協議回数		政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	1	達成率	100.00			予算額	845,732	1,305	
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	現状	
実績値							実績値	845,732 1,305	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
汚水が適正に処理され、快適で衛生的な生活環境が形成できるよう、今後も現状どおり推進していく。									
事務事業名					消費税及び地方消費税の申告・納税		課名	下水道課	
指標					適正な納税をするための、確定申告を行う回数。		政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	1	達成率	100.00			予算額	41,262	2,610	
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	現状	
実績値							実績値	39,848 2,610	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
消費税及び地方消費税の正しい申告を行うため、今後も現状どおり推進していく。									
事務事業名					下水道事業経営戦略策定事業		課名	下水道課	
指標					下水道事業の経費回収率		政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	89.5	目標値	89	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	89.5	達成率	100.56			予算額	3,853	13,485	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	現状	
実績値							実績値	0 13,485	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
「経営戦略」を公営企業会計方式に基づく投資・財政計画に見直すとともに、下水道使用料の水準についても、能率的な経営の下における適正な原価を基礎とし、地方公営企業の健全な運営を確保できるものとなるよう適正化を図る。									

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
健全な下水道事業の経営を行っていくためには、主要な財源となる使用料の適正化に向けた検討を行い、併せて効率的な事業の推進に一丸となって取り組む必要がある。 令和2年4月から公共下水道事業が地方公営企業法適用となることで、財務状況をよりの確に把握し、中長期的な財政・投資計画を策定することが必要となる。	衛生的で快適な生活環境を確保する上で、公共下水道事業は必要不可欠であり、都市計画事業の中でも重要な事業である。 このことから、公共下水道事業の健全経営のために使用料の見直しや水洗化の普及促進は特に重要である。 公共下水道事業の地方公営企業化により、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に、よりの確に取り組む必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
令和2年度からの公営企業会計化により、事業の経営状況や資産等をより正確に把握することが可能となった。下水道事業を安定的に経営していくために経営戦略を見直し、併せて下水道使用料適正化に向けた検討を行い、健全経営に努める必要がある。	令和2年度からの公営企業会計化により、下水道事業の透明化や効率化、経営基盤の強化に向けた準備が整った。今後は、健全な下水道経営を維持するために、事業計画や使用料が適正であるかを定期的に検証をして事業運営を図る必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	安全な水の安定供給と環境負荷低減に向けた取り組み	施策コード	62301	施策主管部課	水道局 工務課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	上水道の安定供給			関係課	経営課 健康づくり支援課
	(3) 節の目的	安全な水を安定して供給するため、災害時を含めた確実な水の確保や、効率的な水道経営に努めます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民			
どういう状態に		安全な水が安定して供給されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> 水道普及率の向上のため、未給水地区への配水管の新設を行う。 災害・事故対策の強化のため、浄水場及び管路の耐震化を進める。 有収率の向上のため、給水管の漏水調査を反映した修繕を行う。 					

施策指標	(7) 指標		指標の設定理由				
	① 水道普及率（給水人口/給水区域内人口）		水道普及率の向上により、安全な水の安定供給に努める。				
	② 有収率（有収水量/給水量）		有収率の向上により、水道経営の安定と水資源の節約に努める。				
	③ 管路耐震適合化率		管路の耐震化により、地震・災害に強い水道管路網を構築する。				
	(8) 指標の目標値と実績値		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	①	目標値	%	93.8	93.9	94	94.1
		実績値		93.7			
		達成率		99.89			
	②	目標値	%	97.4	97.5	97.5	97.6
		実績値		94.9			
達成率		97.43					
③	目標値	%	44	45	46	47	
	実績値		43.4				
	達成率		98.64				

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,729,188	763,232	696,462	0
		人件費	85,608	85,608	19,401	0
		合計	1,814,796	848,840	715,863	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,377,877			
		人件費	85,608			
合計		1,463,485				

施策を構成する事務事業

事務事業名	専用水道・簡易専用水道・小規模水道の管理等指導事業				課名	健康づくり支援課		
指標	基準を満たしている専用水道施設の割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	31	5,655

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

飲料水の安全が確保されるように指導することは重要であり、今後も継続して指導を行い推進していく。

事務事業名	貯水槽水道の衛生管理指導				課名	経営課		
指標	貯水槽水道指導件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	10	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	5	達成率	50.00					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	435

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は、貯水槽水道の衛生管理に関して有効であることから、今後も引き続き指導・助言を行っていく。

事務事業名	指定給水装置工事事業者の審査				課名	経営課		
指標	審査による指定率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	54	2,871

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

指定給水装置工事事業者制度の維持・推進に不可欠なため、今後も引き続き事業を推進していく。

事務事業名	給水装置工事監理				課名	経営課		
指標	審査指導後の工事承認率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	203	3,480

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

給水装置は、水道施設の根幹をなす施設のひとつであり、その工事の審査・指導を行うことは極めて重要なことであることから、今後も引き続き事業を推進していく。

事務事業名	量水器取替・修繕業務				課名	経営課		
指標	メータ交換実績				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	99.3	達成率	99.30					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	56,003	1,305

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

量水器は水道料金調定の要となる使用水量を計量する機器であるため、計量法に基づいた適正な維持管理を行うことは水道事業にとって必須である。

事務事業名	直結・増圧給水の普及促進				課名	経営課		
指標	指導数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	10	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	5	達成率	50.00					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	33	870

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

直結給水方式については、広報活動などにより水道利用者の認識が高まってきており、貯水槽水道からの切り替えも増えてきている。これにより、水道の衛生管理の質も向上してきている。

事務事業名	給水装置の維持管理				課名	経営課		
指標	給水装置維持点検・修繕数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	80	目標値	80	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	99	達成率	80.81					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	12,870	2,610

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

水道を安心して利用していただくためには、水道利用者自身にも給水装置に関する基礎的な知識を持っていただく必要があり、その情報を水道局が主体となって発信していくことは必要である。

事務事業名	漏水防止事業				課名	経営課		
指標	調査件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	2,500	目標値	2,500	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2,500	達成率	100.00					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	6,826	435

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

有収率を向上させ健全な水道事業運営を行うためには、無効水量を抑えなければならない。このため、無効水量の大部分を占める漏水を早期に発見し、修繕する事は重要である。

施策を構成する事務事業

事務事業名	応急給水体制の充実				課名	経営課		
指標	応急給水訓練を実施した自主防災組織等の数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	4	目標値	4	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	1,738	1,740
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,213	1,740

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

災害時には、局職員だけでは応急給水を実施することは困難であることから、市民の手による応急給水活動の実施は不可欠であり、このような応急給水体制の整備を行う上で必要である。

事務事業名	浄水場施設の更新業務				課名	工務課		
指標	設備機器更新工事の進捗率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	85	達成率	85.00			予算額	854,524	4,872
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	573,155	4,872

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

水の安定供給には計画的な設備更新が必要なため、事業の優先度は高い

事務事業名	浄水場系包括委託業務				課名	工務課		
指標	浄水場における不具合修理件数/浄水場における不具合発見件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	241,128	4,872
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	225,500	4,872

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

安全でおいしい水の安定供給に欠かすことのできない事業であるため優先度は高い。

事務事業名	経年劣化水道管路の更新改良・耐震化				課名	工務課		
指標	経年劣化管路・更新布設替延長距離(m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	5,473	目標値	5,399	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	5,348	達成率	99.06			予算額	487,790	12,267
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	454,905	12,267

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

水の安定供給には経年劣化管路の計画的な更新(布設替え)が必要であることから、事業の優先度は高く現状どおり推進していく。

事務事業名	水質管理業務				課名	工務課		
指標	水質基準適合率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,936	4,002
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,638	4,002

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

水質検査は水道法により義務付けられているため事業の優先度は高い。

事務事業名	配水管路自己施行工事の指導・検査				課名	工務課		
指標	適正に審査・指導・検査を実施した件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	15	目標値	15	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	12	達成率	80.00			予算額	0	4,872
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	4,872

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

自己施行工事は景気状況や民間事業者の投資判断により施行量が左右されるが、当事業の優先度は水道の安定供給を実現するためには変わらずに高いものである。

事務事業名	配水管路の新設・拡張整備				課名	工務課		
指標	配水管新設延長距離(m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	500	目標値	50	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	5,000	7,482
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	7,482

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

今年度は緊急案件が無かったが、対応可能な体制を整えることは安定給水を実現することに繋がるものである。

事務事業名	水道管路施設維持修繕				課名	工務課		
指標	維持修繕工事件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	50	目標値	50	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	36	達成率	138.89			予算額	20,000	4,437
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	26,070	4,437

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

水の安定供給には適切な施設管理や突発的な事故(漏水・濁水)対応が必要であることから事業の優先度は高く、現状どおり維持していく。

施策を構成する事務事業

事務事業名 管路情報管理システム運用					課名	工務課	
指標	データ更新距離 (m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	5,973	目標値	5,449	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	5,348	達成率	98.15			予算額	6,083
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方 (事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
システムを維持し適切な情報提供を継続することは水道の安定供給に繋がるため、事業の優先度は高い。							
事務事業名 浄水場施設の維持管理業務					課名	工務課	
指標	浄水場無事故割合 ((浄水場数 - 浄水場停止事故件数) / 浄水場数)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	70	達成率	70.00			予算額	19,615
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方 (事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
安全で安心な水を供給していくために施設の保守・修繕等の維持管理は必要不可欠であるため事業の優先度は高い							
事務事業名 基幹水道管路の更新改良・耐震化					課名	工務課	
指標	基幹管路耐震化基本設計延長距離 (m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	6,720	目標値	9,860	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	10,610	達成率	107.61			予算額	13,354
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方 (事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
水の安定供給には基幹管路の計画的な更新(布設替え)が必要であることから、事業の優先度は高く現状どおり推進していく。							
事務事業名 適正な取受配水管理					課名	工務課	
指標	水源余裕率 ((確保している水源水量 / 一日最大配水量) - 1) × 1				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	36	目標値	35	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	36	達成率	102.86			予算額	0
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方 (事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
適正な取水・受水・配水管理は、水の安定供給に欠かせないことから事業の優先度は高い							

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①～④適切である。 ⑤考えられない。 ⑥、⑦適切である。 老朽化が進んでいる浄水場及び管路等の耐震化等で、施設を更新する時期を迎え、水道局の基本計画に基づき事業を計画的に進めて行く。	①～④適切である。 ⑤考えられない。 ⑥、⑦適切である。 老朽化が進んでいる浄水場及び管路等の耐震化等で、施設を更新する時期を迎え、水道局の基本計画に基づき事業を計画的に進めて行く。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
①～④・⑥、⑦施策の目標に沿った事業を概ね推進できた。	施策目標に沿って事業が執行され、目標達成に貢献した。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	経営基盤の強化と利用者サービスの充実	施策コード	62302	施策主管部課	水道局 経営課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	上水道の安定供給			関係課		
	(3) 節の目的	安全な水を安定して供給するため、災害時を含めた確実な水の確保や、効率的な水道経営に努めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	水道経営の健全化のため、包括業務委託の着実な推進による官民連携効果で、サービスの維持向上と事業運営の効率化による諸経費の縮減化を進め、一層の経営基盤強化と利用者サービスの充実に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	水道局の経営基盤				
どういう状態に		強化されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	利用者サービスの向上を目指すためには、料金・給水・会計業務の包括委託において、民間ノウハウの活用しつつ、官民連携の効果を一層引出すことが必要である。その際、職員には、受託事業者に適切な指導・助言を行うことができる業務スキルが求められるため、職員の人材育成にも体系的に取り組み、過去の経験や知識を継承していくとともに、全国の先進事例をもとに新しい技術や事業運営手法を習得できるようにしていく。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 総収支比率（総収益／総費用）	総収支比率を指標とすることで、経営の健全性を把握することができる。					
	② 水道料金の収納率（収納金額／確定調定額）	水道料金の収納率向上が、経営基盤の強化と利用者サービスにつながる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	111	111	110	109
		実績値		115			
		達成率		103.60			
	②	目標値	%	99.95	99.95	99.95	99.95
		実績値		99.93			
		達成率		99.98			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	254,138	252,674	254,078	0	
		人件費	66,729	66,729	66,729	0	
		合計	320,867	319,403	320,807	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	237,571				
		人件費	66,729				
合計		304,300					

施策を構成する事務事業

事務事業名	契約事務				課名	経営課		
指標	公募型一般競争入札契約率（公募型一般競争入札契約件数／全契約数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	26.67	目標値	30	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	39.65	達成率	132.17			予算額	1,004	4,437
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	769	4,437

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該業務は、公正、公平かつ効率的な経営を行う上で必要不可欠な事業であることから今後も現状どおり事業を推進していく。

事務事業名	出納管理				課名	経営課		
指標	不備伝票処理件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	55	目標値	55	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	50	達成率	110.00			予算額	66	4,524
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	618	4,524

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

施策の実現に必要な業務であり、引き続き実施していく。

事務事業名	広報活動推進				課名	経営課		
指標	あびこの水道配布数／世帯数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,454	3,219
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,960	3,219

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

コロナ禍で市民と接するPR活動が困難なため、広報紙やHP等を活用したPR方法を強化していきたい。

事務事業名	料金の調定・徴収・収納				課名	経営課		
指標	収納率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	95.4	目標値	96	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	96.14	達成率	100.15			予算額	24,107	5,220
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	22,848	5,220

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

民間企業（包括委託事業者）の手法を取り入れながら、より効率的な運営を図っていく。

事務事業名	水道事業計画の進行管理				課名	経営課		
指標	当該年度執行事業件数／当該年度計画事業件数×100				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	6,699
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	6,699

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

適切な事業運営によって、経営基盤の強化と利用者サービスの充実が図れることから優先度が高い

事務事業名	庁舎維持管理				課名	経営課		
指標	実施件数／管理保守の予定件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	95	達成率	95.00			予算額	23,544	2,784
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	21,627	2,784

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該事業は、水道事業を推進していく上で欠かせないものであることから継続的に取り組んでいく必要がある。

事務事業名	組織・人事管理				課名	経営課		
指標	労働生産性＝（営業収益－受託工事収益）／損益勘定所属職員数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	125,064	目標値	124,964	単位	千円	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	128,157	達成率	102.56			予算額	1,122	6,090
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	812	6,090

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水道事業運営に不可欠な業務であるため、引き続き実施していく。

事務事業名	資金管理				課名	経営課		
指標	流動資産回転率： 営業収益－受託工事収益／（期首流動資産＋期末流動資産）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0.6	目標値	0.61	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0.57	達成率	93.44			予算額	36	3,045
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	36	3,045

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

経営基盤の強化と利用者サービスの充実という施策に対し、健全で効率的な運営をすることで、貢献している

施策を構成する事務事業

事務事業名	貯蔵品管理				課名	経営課		
指標	貯蔵品(たな卸資産) 回転率=営業収益-受託工事収益/(期首たな卸)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	128.21	目標値	134.14	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	129.38	達成率	96.45			予算額	24,258	2,262
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	12,543	2,262

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

施策を実施するためには必要な業務であり、引き続き実施していく。

事務事業名	職員研修の推進				課名	経営課		
指標	研修計画数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	18	目標値	18	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	15	達成率	83.33			予算額	1,353	2,262
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	75	2,262

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

水道局職員の人材育成のために必要な事業であり、今後、推進していく必要がある。

事務事業名	料金・給水・会計業務等包括委託				課名	経営課		
指標	評価基準による得点				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	450	目標値	480	単位	点	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	448	達成率	93.33			予算額	170,280	6,786
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	170,280	6,786

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

包括業務委託では、民間企業のノウハウを取り入れ、関連する業務を効率よく執り行うことにより、経費の削減が実現できている。また、同時にお客様サービスの向上も図られている。

事務事業名	法務事務				課名	経営課		
指標	制定及び改廃実施件数/制定及び改廃予定数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	110	3,132
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,132

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

施策を実施するためには必要な業務であるため、引き続き実施する。

事務事業名	公用車管理				課名	経営課		
指標	点検・車検実施数/点検・車検予定数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,040	957
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,491	957

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

維持管理だけでなく、経年による公用車の入れ替えや、運用実績に合わせる形での廃車の検討、環境負荷低減のための電気自動車導入等が考えられる。

事務事業名	財産管理				課名	経営課		
指標	財産の目的外使用に係る審査件数/申請件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	492	2,262
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	525	2,262

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

施策を実施するためには必要な業務であるため、引き続き実施する。

事務事業名	予算編成				課名	経営課		
指標	査定率= 予算の査定額/予算要求額				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	4,785
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	4,785

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

地方公営企業法にもとづく業務であり、優先度が高い。

事務事業名	決算調製				課名	経営課		
指標	経営資本営業利益率=(営業利益/経営資本) × 100				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	△1.16	目標値	0	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	△0.93	達成率	0			予算額	0	4,785
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	4,785

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

地方公営企業法にもとづく業務であり、優先度が高い。

施策を構成する事務事業

事務事業名	滞納整理及び給水停止処分				課名	経営課		
指標	収納率の向上				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	99.94	目標値	99.95	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	99.93	達成率	99.98			予算額	2,272	3,480
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,987	3,480

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

督促状や給水停止予告通告書等の送付により、未収金の収納を進めることができた。今後も水道事業の健全な経営のため、滞納整理を進めていく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
①目的達成に効果的な施策である。 ②新たに策定した水道事業ビジョンや水道事業基本計画に則っており、水道事業をとりまく情勢の変化にも適合している。 ③妥当である。 ④水道事業ビジョンや水道事業基本計画とも整合し、適切かつ有効である。 ⑤水道事業審議会や応急給水訓練に市民が参画している。 ⑥財源配分は適切である。 ⑦適切な人員配置である	①～④適切である。 ⑤事業の一部に市民が参画している。 ⑥～⑦適切である。 各事業は、我孫子市水道事業ビジョン、我孫子市水道事業基本計画、我孫子市水道事業経営戦略の内容と整合している。将来にわたり安定した水道事業を継続するため、各事業を着実に進め、水道の経営基盤の強化と利用者サービスの充実を図る必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
①目的達成に効果的な施策であった。 ②コロナ禍という大きな社会情勢の変化にも対応しつつ、水道事業基本計画に沿って施策展開ができた。 ③妥当であった。 ④水道事業基本計画等とも整合し、適切かつ有効であった。 ⑤コロナ禍で水道事業審議会や市民参加の応急給水訓練が開催できなかったため、当年度は対応が困難であった。 ⑥財源配分は適切であった。 ⑦通常業務の人員配置は適切であったが、他水道事業者への応援給水の際には限られた人員で対応せざるを得なかった。	①～④適切であった。 ⑤コロナ禍の影響で事業への市民の参画が困難であった。 ⑥～⑦適切である。 一部の業務で新型コロナウイルス感染症拡大の影響は受けたものの、我孫子市水道事業ビジョンに掲げた基本目標「安全」「強靱」「持続」の実現に向け、水道事業基本計画に沿って各事業を推進できた。今後はさらに水道事業の経営基盤強化と利用者サービスの充実を図る必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	計画的な雨水排水施設等の整備と維持管理	施策コード	62401	施策主管部課	建設部 治水課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	都市排水施設の整備・充実			関係課	
	(3) 節の目的	市街地での浸水被害を防ぐため、計画的に雨水排水施設の整備・改修をすすめるとともに、雨水流出抑制施設の整備促進を図ります。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	常襲的な浸水被害発生地区			
どういう状態に		浸水被害が軽減されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	常襲的に浸水被害が発生している地区があり、計画的な排水施設の整備が求められている。浸水対策事業には多大な事業費を要することから、実施にあたっては、社会資本整備総合交付金事業として推進していく必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 都市浸水対策達成率（整備完了面積／認可区域面	都市浸水対策達成率を指標とすることで、事業進捗状況を的確に把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	67	68	69	69
		実績値		67			
		達成率		100.00			
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,038,633	806,775	1,106,075	0
		人件費	80,997	63,684	65,511	0
		合 計	1,119,630	870,459	1,171,586	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	534,135			
		人件費	80,997			
合 計		615,132				

施策を構成する事務事業

事務事業名 布佐排水区の整備					課名	治水課			
指標	雨水管整備工事の進捗率（施工済延長／施工予定延長（約1900m））				政策・経常	■政策 □経常 □なし			
現況値	4	目標値	5	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	4	達成率	80.00					予算額	170,773
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	58,543	8,613

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

布佐地区の浸水被害を軽減するためには、雨水幹線の整備が不可欠であるため、今後も現状どおり推進する必要がある。

事務事業名 根戸排水区の整備					課名	治水課			
指標	暫定調整池の維持管理				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	1	目標値	1	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	1	達成率	100.00					予算額	415
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	415	261

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

根戸地区の浸水被害を軽減するためには、調整池機能を維持する必要がある、事業の優先度は高い。なお、暫定調整池として借地していた土地を令和元年度に取得したが、今後、暫定調整池のあり方について検討が必要である。

事務事業名 若松第1～第5排水区の整備					課名	治水課			
指標	雨水管布設工事の進捗率（施工済延長／施工予定延長1390m）				政策・経常	■政策 □経常 □なし			
現況値	68	目標値	75	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	70	達成率	93.33					予算額	400,490
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	127,647	11,223

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

若松地区の浸水被害を軽減するためには、パイプ管の整備が必要であり、今後も現状どおり推進する必要がある。

事務事業名 市内ポンプ施設の点検					課名	治水課			
指標	ポンプ施設（22箇所）点検回数。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	0	目標値	192	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	192	達成率	100.00					予算額	16,782
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	14,886	2,784

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ポンプ施設の不具合は、円滑な内水排除ができなくなることから、ポンプ施設の適正な維持管理が必要不可欠であり、事業の優先度は高い。

事務事業名 排水施設堆積物撤去業務					課名	治水課			
指標	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事箇所数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	21	目標値	21	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	21	達成率	100.00					予算額	22,000
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	20,327	2,262

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

排水施設の機能を維持するためには、定期的な堆積物撤去工事が必要不可欠であり、事業の優先度は高い。

事務事業名 排水施設の草刈業務					課名	治水課			
指標	草刈面積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	17.8	目標値	18	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	17.8	達成率	98.89					予算額	49,843
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	49,475	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

排水施設の周辺環境を良好な状態に維持管理するためには、草刈業務が必要であるため、事業の優先度は高い。

事務事業名 法定外公共物(水路)の管理					課名	治水課			
指標	占用料の徴収率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし			
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00					予算額	0
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	0	2,610

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法定外公共物（水路）の機能を維持するためには、適正に管理する必要がある、事業の優先度は高い。

事務事業名 管理用地境界の確定業務					課名	治水課			
指標	境界確定率（境界確定件数／申請件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00					予算額	100
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	0	1,305

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

公共用地を適正に管理するためには、境界確定業務は必要不可欠であり、事業の優先度は高い。

施策を構成する事務事業

事務事業名	排水施設維持補修工事				課名	治水課	
指標	維持補修工事の箇所数。				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	38	目標値	38	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	38	達成率	100.00			予算額	108,700
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	102,876

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

排水施設の機能を適正に維持するためには、排水施設の不具合箇所の維持補修工事が必要であることから、事業の優先度は高い。

事務事業名	金谷排水機場ポンプの点検				課名	治水課	
指標	排水機場のポンプ施設点検の進捗率。				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	78	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	78	達成率	78.00			予算額	21,268
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,446

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

金谷排水機場の機能を維持するためには、長寿命化計画策定及び定期的に点検することが必要であることから、事業の優先度は高い。

事務事業名	緊急浸水対策事業				課名	治水課	
指標	緊急浸水対策箇所数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	5	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	5	達成率	100.00			予算額	18,700
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	17,941

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

抜本的な浸水対策には長期の期間を要することから、短期的な対策として浸水施設を整備することで浸水被害を軽減するのに有効であることから、今後も現状どおり推進する必要がある。

事務事業名	天王台地区の整備(天王台6丁目地区浸水対策事業)				課名	治水課	
指標	雨水幹線整備後の復旧工事の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	90	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	56,745
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	31,508

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

天王台6丁目地区の浸水被害を軽減するために雨水排水施設の整備を実施し完了したため、復旧工及び家屋の影響調査を今後は実施していく。

事務事業名	柴崎排水区の整備(柴崎幹線整備事業)				課名	治水課	
指標	雨水幹線整備工事の進捗率(施工済延長/施工予定延長(約1180m))				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	2	目標値	5	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	5	達成率	100.00			予算額	157,490
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	105,062

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

柴崎地区・天王台地区の浸水被害を軽減するためには、柴崎雨水幹線の整備が必要である。

事務事業名	雨水排水施設台帳の整備				課名	治水課	
指標	雨水排水施設台帳の作成の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	16	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	16	達成率	16.00			予算額	4,477
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	715

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進。

事務事業名	下水道ストックマネジメント事業(雨水)				課名	治水課	
指標	雨水幹線の点検調査業務委託の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	10,850
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,294

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
常襲的な浸水被害地区の幹線排水路・ポンプ場等の雨水排水施設や、調整池等の雨水流出抑制施設を計画的に整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行うことは、浸水被害の軽減につながる。	課長の評価を妥当と考える。本施策は、重点プロジェクトに位置付けられており、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
常襲的な浸水被害地区の浸水被害軽減に向けて、各地区で進める幹線排水路等の整備について着実に進めることができた。また、既存の排水施設や調整池等について施設の適切な維持管理を行うことが雨水の適正な流下または雨水抑制により浸水被害の軽減につながることから、適切な維持管理を実施できた。	本施策は、重点プロジェクトに位置付けられており、部の運営方針と直結する有効な施策であり、課長の評価を妥当と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	雨水貯留タンク・浸透施設の普及促進	施策コード	62402	施策主管部課	建設部 治水課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	都市排水施設の整備・充実			関係課	
	(3) 節の目的	市街地での浸水被害を防ぐため、計画的に雨水排水施設の整備・改修をすすめるとともに、雨水流出抑制施設の整備促進を図ります。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市街地での浸水被害の軽減を図るため、住宅などの敷地内における雨水貯留タンクの設置を支援するとともに、浸透ますや浸透トレンチなどの雨水浸透施設の普及促進を図ります。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市街地			
どういう状態に		浸水被害が緩和されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	雨水浸透施設の推進や雨水貯留タンクの設置は、市街地浸水被害軽減するため、要綱の広報等によるPR活動を実施し、普及促進を図る必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 雨水貯留タンク設置補助累計基数	雨水貯留タンク設置補助累計基数を指標とすることで、雨水抑制の普及を把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	基	626	639	652	665
		実績値		621			
		達成率		99.20			
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	500	500	500	0
		人件費	7,656	7,656	7,656	0
		合計	8,156	8,156	8,156	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	320			
		人件費	7,656			
合計		7,976				

施策を構成する事務事業

事務事業名		開発等への雨水流出抑制指導				課名	治水課	
指標	排水放流申請の回答率。				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	3,480
事務事業の施策への貢献度		●高い ○普通 ○低い		評価	現状	実績値	0	3,480
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
「我孫子市開発等に伴う排水計画技術基準(雨水編)」に従い雨水流出抑制の指導を実施することで、開発等による雨水流出量の増加が抑えられるだけでなく、排水路等への負担軽減や浸水被害の軽減が図られることから、事業の優先度は高い。								
事務事業名		雨水貯留タンクの設置補助				課名	治水課	
指標	雨水貯留タンクの累積設置基数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	621	目標値	626	単位	基	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	621	達成率	99.20			予算額	500	1,479
事務事業の施策への貢献度		●高い ○普通 ○低い		評価	現状	実績値	320	1,479
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
雨水貯留タンクの設置に対して補助金を支給することで、雨水流出抑制効果のある雨水貯留タンクの設置・普及が進むだけでなく、浸水被害の軽減や雨水の再利用に対する市民の意識向上が図られることから、事業の優先度は高い。								
事務事業名		雨水浸透施設の普及促進				課名	治水課	
指標	雨水浸透施設設置届出件数/建築物の新築件数。				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	4.3	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	4.3	達成率	4.30			予算額	0	2,697
事務事業の施策への貢献度		●高い ○普通 ○低い		評価	現状	実績値	0	2,697
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
雨水浸透施設の普及を促進することで、各戸からの雨水流出量が低減し、浸水被害の軽減を図ることができることから、事業の優先度は高い。								

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
住宅地などの敷地内における雨水貯留タンクの設置を支援するとともに、浸透マスや浸透トレンチなどの雨水浸透施設の普及促進により、市街地での浸水被害の軽減を図ることができる。	課長の評価を妥当と考える。部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
建築時における住宅の敷地内に浸透マスや浸透トレンチなどの雨水抑制施設の設置や雨水貯留タンク設置支援を推進することが下流域における浸水被害軽減につながることで、いずれの施策の推進を図ることができた。	部の運営方針と直結する有効な施策と判断し、課長の評価を妥当と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	幹線道路網の見直し	施策コード	63101	施策主管部課	都市部 都市計画課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	幹線道路網の整備			関係課	
	(3) 節の目的	幹線道路を住環境や安全に配慮しながら計画的に整備し、広域的なつながりや地区間の連絡を円滑にします。				
	(4) 施策の目的・展開方向	将来交通需要の変化に対応しながら、市内における円滑で効率的な幹線道路網を形成していくため、国や県が進める広域的な幹線道路の計画や整備に合わせて、幹線道路網の見直しを行います。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	幹線道路網			
どういう状態に		市を取り巻く広域交通網や将来交通需要の変化に対応している				
(6) 施策実施上の課題と対応	幹線道路の老朽化に伴う改修・整備を計画的に進めると共に、狭あい道路の解消や道路排水施設の整備についても計画的に推進する必要がある。また、国が計画する新たな広域幹線道路の内容によっては市内全域の交通体系の変化も予想される。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 幹線道路網の見直し進捗率	平成24年度の長期未整備都市計画道路費用対効果検討結果に基づき、市内における交通状況や道路整備状況などを見極めながら、必要な見直しを行う必要があるため、直接指標として進捗率を選					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	75	100	100	100
		実績値		25			
		達成率		33.33			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	0	0	0	0
		人件費	3,045	2,610	2,610	0
		合計	3,045	2,610	2,610	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	0			
		人件費	3,045			
合計		3,045				

施策を構成する事務事業

事務事業名	幹線道路網に関する調査・検討				課名	都市計画課		
指標	千葉県等関係機関との協議、調整の回数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	2	目標値	2	単位	回	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	2	達成率	100.00			予算額	0	3,045
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,045

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

国において千葉北西連絡道路の検討が進められており、今後の計画が本市の幹線道路網の見直しに大きく影響することから、事業の優先度は高い。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
都市計画等に基づく幹線道路網の整備は、まちづくりにとって重要である。しかし、社会状況や環境の変化に適切に対応し、市内における円滑で快適な交通網を構築していくため、長期未整備の都市計画道路や概成区間の都市計画道路については、費用対効果や必要性、国が計画する新たな幹線道路計画の動向などを見極めたくて、必要な見直しを行っていく必要がある。	社会状況や環境の変化に適切に対応し、市内における円滑で快適な交通網を構築していくため、必要な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
将来交通需要の変化に適切に対応しながら、市内における円滑で効率的な幹線道路網を形成していくため、平成24年度に実施した都市計画道路網の交通需要予測や未整備路線を整備した場合の費用対効果の検討結果を踏まえ、国において検討が進められている千葉北西連絡道路の進捗に合わせて、本市の都市計画道路網の見直しを進める必要がある。	①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。 ⑤ 市民との協働には該当しなかった。 ⑥⑦ 節の目的を達成するためには引き続き取り組んでいく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	幹線道路の整備・改良	施策コード	63102	施策主管部課	建設部 交通課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	幹線道路網の整備			関係課	道路課	
	(3) 節の目的	幹線道路を住環境や安全に配慮しながら計画的に整備し、広域的なつながりや地区間の連絡を円滑にします。					
	(4) 施策の目的・展開方向	中心拠点活性化の観点から、現在整備を進めている都市計画道路3・4・14号手賀沼公園・久寺家線の整備を完了させるとともに、3・5・15号根戸新田・布佐下線の整備に合わせて、3・4・9号下ヶ戸・中里線と3・4・10号青山・日秀線の整備を進めます。また、事故多発箇所や渋滞箇所については、安全施設の充実や交差点の改良、各道路管理者への改善要望など適切な対策を講じます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	幹線道路				
どういう状態に		円滑で快適な交通流動が確保されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路事業用地取得においては、権利者の理解と協力が得られるように、十分な事業説明と根気強い交渉が必要である。 ・街路整備により沿道環境が変化することについて、説明会等を実施して十分に周知する必要がある。 						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 都市計画道路の整備率（手賀沼・公園久寺家線の	都市計画道路の整備率を指標とすることで、幹線道路での交通流動性が確保されているかどうか把握できる。					
	② 都市計画道路の整備率（下ヶ戸・中里線外1線の	都市計画道路の整備率を指標とすることで、幹線道路での交通流動性が確保されているかどうか把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	88	100	100	100
		実績値		88			
		達成率		100.00			
	②	目標値	%	9	50	80	100
		実績値		0			
		達成率		0.00			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	249,558	287,495	607,557	0	
		人件費	73,254	67,599	55,941	0	
		合 計	322,812	355,094	663,498	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	220,200				
		人件費	73,254				
合 計		293,454					

施策を構成する事務事業

事務事業名	道路の維持管理作業（土木センター）				課名	道路課		
指標	苦情等受付処理対応の土木センター緊急処理完了率（土木センター処				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	11,036	48,546
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	10,908	48,546

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市道通行者の安全性や利便性を確保するために事業の縮小は行わない。

事務事業名	手賀沼公園・久寺家線の整備				課名	交通課		
指標	整備進捗率（用地取得率＋工事進捗率）				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	81	目標値	88	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	88	達成率	100.00			予算額	221,444	12,528
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	201,526	12,528

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

都市計画で定めた主要な幹線道路であるため、早期の供用が必要である。

事務事業名	下ヶ戸・中里線外1線の整備				課名	交通課		
指標	事業用地取得				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	9	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	11.11			予算額	17,078	12,180
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,766	12,180

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

円滑で快適な交通流動の確保のために必要な施策である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
市内幹線道路間のアクセス向上、交通混雑の緩和及び交通円滑化への対策として重要な施策であり、道路を利用する歩行者の安全確保からも必要不可欠な施策である。	幹線道路の整備は、円滑で快適な交通流動を確保するうえで重要な施策であり推進する必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・3・4・14号手賀沼公園・久寺家線の認可については、令和2年4月に最終1件の用地買収が完了し、整備工事に着手した。 ・市内幹線道路間のアクセス向上、交通混雑の緩和及び交通円滑化への対策として重要な施策であり、道路を利用する歩行者の安全確保からも必要不可欠であることから、引き続き事業を推進する。 	幹線道路の整備は、円滑で快適な交通流動を確保する上で重要な施策であるため、継続した整備が必要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	計画的な生活道路の整備	施策コード	63201	施策主管部課	建設部 道路課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生活道路の整備			関係課	交通課 建築住宅課	
	(3) 節の目的	日常の暮らしを支える重要な施設である生活道路は、道路の安全性を高めるとともに、維持管理を充実します。また、道路空間のデザインや緑化に配慮し、魅力ある快適な道路整備をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、狭あい道路の拡幅や踏切の改良など、市民の生活に密接にかかわる生活道路の計画的な整備を進めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	生活道路				
どういう状態に		安全で快適に通行できるよう整備されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	狭隘道路の拡幅や待避所設置など用地確保が伴うため、地権者の事業理解が必要である。限られた財源の中での事業であるため、市民ニーズを把握し、これを反映させる。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 下新木踏切道の歩道整備延長（210m）	道路整備状況が把握できる。					
	② 市道24-003号線等(妻子原地先)の改良整備延長	道路整備状況が把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	50	100	100	100
		実績値		47			
		達成率		94.00			
	②	目標値	%	0	0	0	0
		実績値		0			
		達成率		0			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	265,267	93,265	74,506	0	
		人件費	50,025	48,459	36,279	0	
		合計	315,292	141,724	110,785	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	213,374				
		人件費	50,025				
合計		263,399					

施策を構成する事務事業

事務事業名	市道の認定、廃止及び用途廃止				課名	道路課		
指標	告示路線件数／認定等路線件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	4,524
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	4,524

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の生活に密接している施設である道路の管理事業のため、市が率先して行わなければならない。

事務事業名	市道24-003号線等（妻子原地先）の改良				課名	道路課		
指標	検討の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	1,305
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,305

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

安全で円滑な通行を確保するためには有効幅員を広くする必要があり、さまざまな検討を進める必要がある。

事務事業名	開発行為の指導・道路用地の寄付帰属				課名	道路課		
指標	処理件数／申請件数×100				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	5,655
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	5,655

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

行政が指導する業務である。

事務事業名	道路に関する相談への対応				課名	道路課		
指標	相談処理率（相談件数／解決件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	8,215	13,224
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	8,116	13,224

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	高野山新田交差点改良				課名	道路課		
指標	交差点検討の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	10	目標値	20	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	20	達成率	100.00			予算額	0	522
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	522

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

安全で快適な道路とするため、必要な事業である。

事務事業名	市道21-039号線（高野山地先）道路整備				課名	道路課		
指標	交渉進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	5	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	100.00			予算額	0	609
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	609

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

高野山地区内の円滑な通行を図るために、高野山まちづくり事業で整備出来なかった部分の整備を行う必要がある。

事務事業名	中峠・古戸の道路整備				課名	道路課		
指標	中峠南地区道路整備の検討進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	5	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	100.00			予算額	3,200	2,697
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,595	2,697

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

中峠・古戸地区の防災面強化や快適な住環境を確保するため、道路整備が必要である。

事務事業名	土谷津地区の道路整備				課名	道路課		
指標	業務の進捗度				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	15	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	50,492	3,654
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,809	3,654

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

土谷津地区内への緊急車両の進入路確保するためには、必要な道路整備であることから、事業の優先度は高い。

施策を構成する事務事業

事務事業名		新木駅北口地区の道路整備				課名	道路課		
指標	検討の進捗度				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし			
現況値	5	目標値	10		単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	100.00				予算額	0	435
事務事業の施策への貢献度		○高い ●普通 ○低い		評価	現状		実績値	0	435
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
駅への安全性を図るため、必要な事業である。									
事務事業名		下新木踏切道の改良				課名	交通課		
指標	契約権利者数				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし			
現況値	0	目標値	2		単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00				予算額	203,360	12,180
事務事業の施策への貢献度		●高い ○普通 ○低い		評価	現状		実績値	195,854	12,180
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
道路交通の安全性や歩道整備による通学路の安全確保のために重要な施策である。									
事務事業名		狭あい道路(建築基準法第42条第2項道路)の拡幅指導と支援				課名	建築住宅課		
指標	後退義務があるもののうちパトロールできた後退義務件数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし			
現況値	100	目標値	100		単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00				予算額	0	3,828
事務事業の施策への貢献度		○高い ●普通 ○低い		評価	現状		実績値	0	3,828
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
狭隘道路の解消には、パトロールの実施が不可欠であるため引き続きパトロールを実施する必要がある。									

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効果的な政策だと考える。 ・生活道路の整備は、面的整備に伴う道路整備以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。 ・実施には専門的知識を有している職員の配置とともに研修等で知識の習得も必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効果的な政策だと考える。 ・生活道路の整備は、面的整備に伴う道路整備以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに、道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
生活道路の整備は、市民生活に密接しているため、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新や、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに、道路の適切な管理、維持補修を実施した。	本施策は、市民生活と密接な関係にあり、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
改善検討	
●要 ○不要	
施策展開の改善点と展開方向	
・実施には、専門的知識を有している職員の人員配置などの措置が必要である。	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	道路用地と道路施設の適切な管理・維持補修	施策コード	63202	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生活道路の整備			関係課	
	(3) 節の目的	日常の暮らしを支える重要な施設である生活道路は、道路の安全性を高めるとともに、維持管理を充実します。また、道路空間のデザインや緑化に配慮し、魅力ある快適な道路整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、道路用地と道路施設の適切な管理や効率的・効果的な維持補修を行います。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	道路空間			
どういう状態に		安全で快適に通行できるよう適切な維持管理が行われている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	限られた財源の中で事業であるため、市民ニーズを把握し、これを反映させる。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市道の舗装率	道路整備状況が把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		90.52			
		達成率		90.52			
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	491,529	615,639	540,679	0
		人件費	65,859	61,596	61,596	0
		合計	557,388	677,235	602,275	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	383,719			
		人件費	65,859			
合計		449,578				

施策を構成する事務事業

事務事業名	道路用地の管理				課名	道路課		
指標	取得件数(取得額)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	0	単位	円	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0			予算額	3,323	4,350
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,430	4,350

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

令和3年度も引き続き土地を借りる必要があり、また必要に応じて隔切り用地を取得していく必要もある為、現状通り推進していく

事務事業名	放置車両の処理				課名	道路課		
指標	放置車両未発生率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	1,392
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,392

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市が行いべき事業であるので現状のままとしてほしい。

事務事業名	法定外公共物管理				課名	道路課		
指標	譲渡件数/譲渡可能な申請件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	420	1,827
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	229	1,827

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市民の福祉として認定外道路の維持管理(払下含む)を行う責務がある。

事務事業名	街路灯の新設及び維持管理				課名	道路課		
指標	街路灯補修率(街路灯補修件数/街路灯補修依頼件数)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	55,136	5,220
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	49,286	5,220

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	道路の維持補修				課名	道路課		
指標	年間で予定している道路の維持修繕工事の進捗率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	96	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	280,377	12,267
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	268,668	12,267

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

道路管理者として、安全に通行できる道路機能を確保するため、事業の優先度は非常に高い。

事務事業名	道路パトロール				課名	道路課		
指標	パトロール実施率(パトロール実施件数/パトロール実施予定件)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	518	9,744
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	500	9,744

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

定期的なパトロールにより、道路通行の安全確保が図られるため、事業の優先度は高い。

事務事業名	道路台帳の修正				課名	道路課		
指標	道路台帳修正箇所/区域変更等の箇所				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	10,717	2,610
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	10,450	2,610

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

法令で定められている事業のため、縮小等は行わない

事務事業名	道路境界の査定				課名	道路課		
指標	境界査定確定率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	5,075	2,262
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	187	2,262

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

官民の境界確定を道路管理者である市が行う。

施策を構成する事務事業

事務事業名	道路情報の提供（台帳、確定図の閲覧）				課名	道路課		
指標	認定路線等件数＋道路境界確定件数/データ投入件数 100%				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,849	2,784
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,677	2,784

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和3年度から統合型GISにより事業を行う事になるため、既存ベンダーと新規ベンダーと綿密に打ち合わせを行い、スケジュール通り移行を行っていく事と共に、道路台帳のデジタル化を複数年計画で進めていく事が望ましい。

事務事業名	道路環境の維持（経常的経費）				課名	道路課		
指標	道路清掃、草刈り業務執行率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	29,043	3,915
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	28,485	3,915

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

適切な道路環境の確保を行うことができた。

事務事業名	道路管理瑕疵の処理（訟務）				課名	道路課		
指標	道路瑕疵による事故処理率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	40	達成率	40.00			予算額	2,500	3,219
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,877	3,219

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路瑕疵の対応は道路管理者である市が行うため、縮小は行わない。

事務事業名	我孫子北口タクシー待機場所管理				課名	道路課		
指標	使用料徴収率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	292	870
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	227	870

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

待機場所の施設設備の状況に留意して、維持管理を行うことは重要であり、必要不可欠なものといえる。

事務事業名	車両制限の許可				課名	道路課		
指標	許可件数/申請件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	174
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	174

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進していく。

事務事業名	道路占用申請等の許可・承認事務				課名	道路課		
指標	処理率（許可件数/申請件数）				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,470	8,091
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,445	8,091

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路法に基づき、今後も事業を進めていく

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業				課名	道路課		
指標	業務の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	17	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	97,809	2,871
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	16,258	2,871

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

橋梁の適正な維持管理を図るため当該事業を行うことは必要であり、交付金を活用し事業を展開できることから、優先度は非常に高い。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効果的な政策だと考える。 ・生活道路の整備は、面的整備に伴う道路整備以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。 ・実施には専門的知識を有している職員の配置とともに研修等で知識の習得も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効果的な政策だと考える。 ・生活道路の整備は、面的整備に伴う道路整備以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに、道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効率的な施策だと考える。 ・生活道路の整備は、通行支障箇所の改善や老朽化の更新、通行実態に応じた道路改良を実施し、適切な管理、維持補修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当な評価と考える。 ・本施策は、市民生活と密接な関係があり、部の運営方針と直結する有効なものと判断する。
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
<ul style="list-style-type: none"> ・実施には、専門的知識を有している職員の人員配置などの措置が必要である。 	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	道路空間の魅力化の推進	施策コード	63203	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生活道路の整備			関係課	
	(3) 節の目的	日常の暮らしを支える重要な施設である生活道路は、道路の安全性を高めるとともに、維持管理を充実します。また、道路空間のデザインや緑化に配慮し、魅力ある快適な道路整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	魅力ある快適な道路空間をつくるため、その地域や道路にふさわしい路面のインターロッキングブロック舗装、街路灯のLED化、サインのデザイン、街路樹の選定などを行うとともに、街路樹の適切な維持管理を行います。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	道路空間			
どういう状態に		その地域や道路にふさわしい、魅力ある快適な道路空間となっている				
(6) 施策実施上の課題と対応	街路樹剪定により発生する剪定枝木のリサイクル化、病害虫防除での散布薬剤量の軽減化が必要である。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 自治会が管理するLED街路灯の設置率	魅力ある快適な道路空間の整備状況が把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		99			
		達成率		99.00			
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	46,768	46,768	46,768	0
		人件費	3,828	3,828	3,828	0
		合計	50,596	50,596	50,596	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	46,534			
		人件費	3,828			
合計		50,362				

施策を構成する事務事業

事務事業名	道路愛称の定着化				課名	道路課		
指標	愛称定着率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	522
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	522

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進していく。

事務事業名	街路樹の維持管理事業				課名	道路課		
指標	街路樹維持管理率（病害虫・支障枝等街路樹育成阻害要因の除去件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	46,768	2,958
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	46,534	2,958

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	道路環境美化の活動支援（アダプトプログラム）				課名	道路課		
指標	団体数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	18	目標値	20	単位	団体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	18	達成率	111.11			予算額	0	348
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	348

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

実施要領の緩和を検討し、今後も継続して参加団体への支援及び新規登録を増やすための勧誘を進める。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・本施策は、節の目標を達成する上での効果的な手段であるが、現時点においては道路本来の機能確保を優先させる必要があることから、本施策を主目的とした具体的な事業展開は難しい状況にある。 ・生活道路を魅力ある空間にしていくためには、沿道の宅地や空き地を含めた景観の形成が必要となることから、市民との協働は必須となる。その地域や道路にふさわしい路面舗装、街路灯・サインのデザイン、街路樹の選定など魅力ある快適な道路空間をつくるための人員配置が考慮されていない。 ・街路樹維持管理には、専門的な知識が必要なことから、研修に 	<ul style="list-style-type: none"> ・本施策は、節の目標を達成する上で効果的な手段であるが、現時点においては、道路本来の機能確保を優先させる必要があることから、本施策を主目的とした具体的な事業展開は難しい状況にある。 ・生活道路を魅力ある空間としていくためには、沿道の宅地や空き地を含めた景観の形成が必要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効果的な施策と考える。 ・生活道路の安全性を高めるとともに維持管理を適切に進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本施策は、市民生活と密接な関係があり、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域や道路にふさわしいサインのデザインや街路樹の選定など魅力ある快適な道路空間をつくるために、専門的な知識を有している職員の配置などの措置が必要である。 	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	徒歩・自転車交通の安全性・快適性の確保	施策コード	63301	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	徒歩・自転車環境の整備			関係課	
	(3) 節の目的	安全で快適な歩行者空間の充実や自転車が安心して利用できる交通環境の整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるため、歩道の段差解消や障害物の除去などのバリアフリー化や、点字ブロックなどの安全施設の整備を進めるとともに、自転車走行空間の確保に努めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	徒歩・自転車交通			
どういう状態に		安全性と快適性が高まっている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	既設歩道のバリアフリー化は、幅員の確保や縦断勾配が大きい個所の対応が困難であるが、より基準に近づけるようにする。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① バリアフリーお出かけマップにおける累計改良数	改良を要するとされる箇所の数値であるため。					
	② 天王台南口点字ブロックの整備延長	バリアフリー化整備状況が把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	箇所	52	28	0	0
		実績値		34			
		達成率		65.38			
	②	目標値	m	500	270	0	0
		実績値		230			
		達成率		46.00			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
財源	(9) 予算 (千円)	事業費	5,000	5,000	5,000	0
		人件費	2,349	2,349	2,349	0
		合計	7,349	7,349	7,349	0
(10) 実績値 (千円)	事業費	4,709				
	人件費	2,349				
	合計	7,058				

施策を構成する事務事業

事務事業名	バリアフリー歩道改良				課名	道路課	
指標	工事完了率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	5,000
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	4,709

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

社会ニーズに沿ったバリアフリーに配慮した歩道整備を進めることは、優先度は非常に高い。

事務事業名	我孫子隧道の歩道改修				課名	道路課	
指標	対応策検討の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	20	目標値	20	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	20	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

用地の確保やJR構造物の移転等の課題は多いが、歩行者・自転車利用者の安全確保のため、必要な事業である。

事務事業名	白山跨線人道橋延伸整備及び信号機の設置				課名	道路課	
指標	人道橋の整備手法の検討進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	10	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	10	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

第四小学校、白山中学校の児童、生徒や地元住民が安全で快適に通行できるようにするために必要な事業である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>・ 徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるためには、歩道のバリアフリー化、点字ブロックなどの安全施設の整備、自転車徒歩空間の確保は、節の目標を達成するための重要な施策である。</p> <p>・ 歩道のバリアフリー化については、重点的に進めていく必要があるため適切な人員配置が必要である。</p>	<p>・ 徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるためには、歩道のバリアフリー化、点字ブロックなどの安全施設の整備、自転車徒歩空間の確保は、節の目標を達成するための重要な施策である</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるためには、歩道のバリアフリー化、点字ブロックなどの安全施設の整備、自転車徒歩空間の確保などを進めた。</p>	<p>本施策は、市民生活と密接な関係があり、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。</p>
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
<p>歩道のバリアフリー化については、重点的に進めていく必要があるため、適切な人員配置が必要である。</p>	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	自転車駐車場の利用促進	施策コード	63302	施策主管部課	建設部 交通課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	徒歩・自転車環境の整備			関係課		
	(3) 節の目的	安全で快適な歩行者空間の充実や自転車が安心して利用できる交通環境の整備をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	各駅周辺の自転車放置禁止区域内における歩行者等の安全を確保するため、自転車駐車場の利用促進や放置自転車のパトロール強化に取り組み、安全で快適な歩行者空間を創出します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	各駅周辺で				
どういう状態に		快適な歩行者空間が創出されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	放置自転車対策と自転車駐車場管理運営を自転車駐車対策事業として、総合的に推進したことにより、以前に比べ快適な歩行空間が確保されている。しかし、市が撤去・移送ができない民間施設や自転車駐車場で自転車を放置する者（無断利用者）もいることから、今後は、積極的に自転車駐車場への利用に誘導していくことが必要である。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 放置自転車の年間返還台数	放置自転車の返還台数を指標とすることで、自転車駐車場の利用促進が図られているかどうかを把握することができる。					
	② 一時使用を除く自転車駐車場利用率	自転車駐車場の利用率を指標とすることで、放置自転車が減り安全な歩行者空間を創出されているかどうかを把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	台	455	450	445	440
		実績値		54			
		達成率		842.59			
	②	目標値	台	80	80	80	80
		実績値		70			
		達成率		87.50			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	157,030	157,030	167,030	0	
		人件費	3,828	3,828	3,828	0	
		合 計	160,858	160,858	170,858	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	154,516				
		人件費	3,828				
合 計		158,344					

施策を構成する事務事業

事務事業名	自転車等駐車対策事業				課名	交通課		
指標	自転車駐車場の利用率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	71	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	71	達成率	88.75			予算額	157,030	3,828
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	154,516	3,828
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
放置自転車を抑止し、駅前歩道等を良好な状態に保つためには、本事業の必要性は高く、施策への貢献度も高い。								

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>放置自転車対策は、歩道等における歩行者空間の確保のため重要な事業であり、その受け皿としての自転車駐車場の管理運営は、市民サービスの向上を図るという観点からも必要不可欠な施策である。</p>	<p>自転車駐車場の利用促進は、駅周辺等の歩行者空間の確保に重要な施策であり、自転車駐車場の適切な維持管理運営及び放置自転車対策の強化を図り、良好な歩行者空間の確保を行っていく必要がある。予算に関しては、歳入歳出のバランスを考慮し経費の節減と受益者負担の考え方にに基づき適正な使用料体系を構築する必要がある。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>令和2年度から新たな使用料体系を施行したものの、想定通り利便性が高い区画の申請者数は多いものとなり、最も高価となった本町3丁目1階では、抽選により新年度の募集を行うに至った。引き続き、適性な運営を行っていく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が拡大の影響で利用者数の落ち込みはあったものの、感染防止対策を行いながら適正な運営ができたことは高く評価できる。今後、更に厳しい財政状況となることが予想されることから、利便性向上を図りつつ業務の効率化を行い運営経費の縮減に努めていく必要がある。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	鉄道の輸送力の強化と利便性の向上	施策コード	63401	施策主管部課	企画財政部 企画課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公共交通の利便性の向上			関係課		
	(3) 節の目的	通勤通学や買い物などの日常生活の移動を円滑で快適なものとするため、JR成田線をはじめ公共交通の輸送力や利便性を高めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元、東京駅乗り入れ枠の拡大と東海道線との相互直通運転などをJR東日本に働きかけ、鉄道の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	JR成田線とJR常磐線				
どういう状態に		輸送力が強化され、利便性も向上している。					
(6) 施策実施上の課題と対応	JR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元など市民の交通の利便性が向上するよう、毎年JR東日本に対し要望を実施しているが、実現には至っていない。実現は事業主体であるJR東日本の取り組みとなるため、沿線自治体が協力して実現に向けた働きかけを継続して行っていく。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① JR成田線の増発本数	増発が利用者の利便性向上に直接つながるため。					
	② 我孫子駅に停車する常磐線特別快速の往復本数	我孫子駅に停車する本数が増えることが利用者の利便性向上に直接つながるため。					
	③ 常磐線の東京駅乗り入れの往復本数	常磐線の東京駅に乗り入れは、利用者の利便性向上に直接つながるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	本	1	2	2	2
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値	本	6	6	6	6
		実績値		0			
達成率		0.00					
③	目標値	本	41	41	41	41	
	実績値		41				
	達成率		100.00				

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	2,306	1,136	1,136	0
		人件費	7,482	7,047	7,047	0
		合計	9,788	8,183	8,183	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,464			
		人件費	7,482			
合計		8,946				

施策を構成する事務事業

事務事業名	常磐線の利便性向上				課名	企画課		
指標	要望事業数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	3	目標値	3	単位	項目	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3	達成率	100.00			予算額	1,303	3,393
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	488	3,393

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

常磐線の利便性向上は市民にとって重要であることから、引き続き事業を進めていく。

事務事業名	成田線の輸送力強化と利便性向上				課名	企画課		
指標	要望実績数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	10	目標値	10	単位	項目	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	25	達成率	250.00			予算額	1,003	3,915
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	976	3,915

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

成田線の輸送力強化と利便性の向上は、市のまちづくりにおける課題であることから、千葉県や沿線市町と連携して、JR東日本に対して引き続き要望していく必要がある。

事務事業名	成田空港活用協議会への参画				課名	企画課		
指標	事業の提案数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	1	目標値	1	単位	案	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	0	174
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	174

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

成田空港の機能強化など空港を活用した沿線の活性化についての動きを今後も注視していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
市民の通勤・通学や日常生活の移動に、鉄道の輸送強化と利便性向上は必要不可欠である。利用率の向上と要望実現のため、引き続き、要望活動などに着実に取り組んでいく。	鉄道の利便性向上は、定住化の促進などまちづくりの観点から重要な施策であり、引き続き取り組みを進めていく必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
常磐線・成田線は市民にとって重要な交通手段であることから、引き続き輸送力強化と利便性の向上に向けて要望活動などに取り組む必要がある。	鉄道の利便性向上は、定住化などまちづくりの施策に大きな影響を与えることから、施策として引き続き取り組んでいく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	バスの輸送力と利便性の向上	施策コード	63402	施策主管部課	建設部 交通課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公共交通の利便性の向上			関係課		
	(3) 節の目的	通勤通学や買い物などの日常生活の移動を円滑で快適なものとするため、JR成田線をはじめ公共交通の輸送力や利便性を高めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、駅や各施設への重要な交通手段であるバス路線の延長など、地域住民や公共交通事業者と連携し、バス輸送力と利便性の向上を図ります。また、市域東側の新たな公共交通として、シャトルバスの導入について市内バス事業者等と協議していきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市民が				
どういう状態に		安全で快適にバスを利用している。					
(6) 施策実施上の課題と対応	高齢者等を対象とした送迎バス活用事業については、送迎バスを利用する際に、空席が無い場合は利用することができないことや、民間事業者の厚意で成り立っている事業であることを、利用者に理解してもらい、公共交通とは一線を画した事業として進めていく必要がある。市民バス運行事業については、経費削減のために運行経費縮減策を検討する必要がある。地域に市の財政状況を理解いただきながら、協力を求め、改善策を検討していく。 (仮称)シャトルバスについては、市民の意向を把握しながら、より便利な交通となるよう検討を進めていく。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市民バスの利用者数	市民バスの乗客数を指標とすることで、バスによる地域交通の利便性が向上しているかどうかを把握することができる。					
	② 送迎バス利用者の登録数 (隔年)	送迎バスの利用者数を指標とすることで、高齢者等の外出応援事業の効果を把握することができる。					
	③ 公共交通事業者等緊急支援	支援事業者を指標とすることで、事業の評価が可能となる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	220,000	220,000	220,000	220,000
		実績値		160,327			
		達成率		72.88			
	②	目標値	人	10	10	10	10
		実績値		10			
達成率		100.00					
③	目標値	者	24	0	0	0	
	実績値		21				
	達成率		87.50				
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	76,099	78,066	86,962	0	
		人件費	12,267	8,700	8,700	0	
		合計	88,366	86,766	95,662	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	73,698				
		人件費	12,267				
合計		85,965					

施策を構成する事務事業

事務事業名		事業者等の送迎バスの空席を活用した外出応援事業				課名	交通課	
指標	外出応援バス事業者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	10	目標値	10		単位	事業者	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	10	達成率	100.00				予算額	1,290
事務事業の施策への貢献度		●高い ○普通 ○低い		評価	現状	実績値	1,199	2,958
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
高齢化が進んでいる現状において、既存公共交通だけでは各地域の生活の足を確保できない状況となっている。そのため、送迎バス事業者の協力を得て、高齢者の移動手段を確保する本事業は重要である。								
事務事業名		我孫子市地域公共交通協議会運営				課名	交通課	
指標	あびバス・ふれあいバス(市内バス停)利用者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	231,105	目標値	220,000		単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	160,327	達成率	72.88				予算額	69,519
事務事業の施策への貢献度		●高い ○普通 ○低い		評価	現状	実績値	67,629	5,742
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
あびバスを含め、新たな公共交通を研究・検討している協議会は、今後の市内公共交通の維持・発展に果たす役割は大きい。								
事務事業名		新型コロナウイルス感染拡大に伴う公共交通事業者支援				課名	交通課	
指標	支援金交付事業者数				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	21	目標値	24		単位	者	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	21	達成率	87.50				予算額	5,290
事務事業の施策への貢献度		●高い ○普通 ○低い		評価	その他	実績値	4,870	3,567
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
本事業により、少ないながらも新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に繋げることができた。								

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
市民バスの運行については、市内の交通不便及び空白地区の解消を図る重要な事業である。事業者等の送迎バスの空席を活用した外出応援事業は、公共交通を補完する移動手段として重要な事業である。このような事業の展開は、市民の移動における利便性を向上するために必要不可欠な施策である。	市民バスの運行、市内を走る民間事業者の送迎バスを活用した外出応援事業等による市民の移動手段の確保に係る施策は、高齢化が進む市の現状から考えても重要であり、推進していく必要がある。地域公共交通協議会で実施する事業については、市民意向を把握しながら進めていく必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、利用者が落ち込む中においても、民間路線バスと同様に国からの要請に基づき、通年で休むことなく事業を実施することができた。	新型コロナウイルス感染症の影響の中で公共交通は、市民の生活の足として重要なものであることを再確認することができた。ただし、今後の厳しい財政状況の中、運営費の改善を検討していくことが必要と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	駅施設のバリアフリー化の推進	施策コード	63403	施策主管部課	建設部 交通課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公共交通の利便性の向上			関係課		
	(3) 節の目的	通勤通学や買い物などの日常生活の移動を円滑で快適なものとするため、JR成田線をはじめ公共交通の輸送力や利便性を高めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	誰もが安全で快適に駅施設を利用できるよう、新木駅では、自由通路を整備し、駅南口・北口にエレベーター・エスカレーターを設置するとともに、我孫子駅と天王台駅では、自由通路の整備を検討します。また、駅構内のエレベーターの設置を支援します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市民が				
どういう状態に		安全で快適に駅施設を利用している。					
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子駅では、ホームエレベーターが未整備となっているため、設計段階から整備主体であるJR東日本に支援を行っていく。市民が利用しやすい施設となるよう費用対効果も含め、JR東日本と早期整備に向けた協議を進めていく。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 駅維持管理箇所数（対応箇所数）	駅維持管理箇所数（対応箇所数）を指標とすることで、市民が快適に駅施設を利用できているかどうか把握することができる。					
	② 我孫子駅ホームエレベータ等整備工事進捗率	我孫子駅ホームエレベータ整備工事の進捗率を指標とすることで、目標の達成状況を把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	箇所	5	5	5	5
		実績値		5			
		達成率		100.00			
	②	目標値	%	25	60	95	100
		実績値		25			
		達成率		100.00			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	183,552	226,958	226,958	0	
		人件費	10,179	10,179	10,179	0	
		合 計	193,731	237,137	237,137	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	46,962				
		人件費	10,179				
合 計		57,141					

施策を構成する事務事業

事務事業名	駅施設維持管理事業				課名	交通課	
指標	対応箇所数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	5	目標値	5	単位	箇所	事業費(千円)	
実績値	5	達成率	100.00			予算額	34,552
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	24,898

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の多くが利用する駅施設、特にバリアフリー施設の維持管理は、障がい者や高齢者の移動円滑化を図るために必要不可欠な事業であることから、施策への貢献度は高い。

事務事業名	駅構内バリアフリー施設等の整備・支援				課名	交通課	
指標	当該年度進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	0	目標値	25	単位	%	事業費(千円)	
実績値	25	達成率	100.00			予算額	149,000
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	22,064

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子駅構内エレベーターは多くの市民が望む施設であり、市民の利便性向上に直結する事業である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
誰もが安全で快適に駅及び駅周辺施設を利用できるよう、駅のバリアフリー化及び安全対策は重要であり必要不可欠なものである。我孫子駅ラッチ内EV整備については、東日本旅客鉄道(株)が進める事業について、より市民が利用しやすいよう費用対効果を検証しつつ必要となる支援を実施していく。	我孫子駅ラッチ内エレベーター整備については、市民の要望が多い事業であるため、丁寧に進めていく必要がある。引き続きJR東日本と良好な関係を築きながら、早期実現に向け進めていく必要がある。また、ホームドア整備に関しては、支援の方法を検討し、協議を行っていく。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
繰越した設計業務も予定通り完了し、令和2年10月6日に工事協定を締結することができた。引き続き、JRと協議を進め、早期供用開始に向け取り組んでいく。	我孫子駅については、市内において市民が最も利用する駅であることから、駅利用者に影響のある工事については、JRと協力し周知していく必要がある。早期完成のために協力できることは、全て実施していく方針で業務を進めてもらいたい。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	交通安全の啓発	施策コード	63501	施策主管部課	市民生活部 市民安全課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	交通安全			関係課		
	(3) 節の目的	交通事故から市民を守るため、交通安全意識を高めるとともに、安全な交通環境の整備をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	交通事故から市民を守り、交通マナーの向上を図るため、警察署や学校、各種関係団体と連携し、交通安全教室や通学時の街頭指導、シルバーリーダーの育成などに取り組むとともに、歩行者の安全に配慮した自転車の運転マナーを向上させるための啓発活動や自転車保険への加入を促進し、市民の交通安全意識を高めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
		どういう状態に	交通安全意識が高まっている				
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市に啓発活動を行える交通指導専門の職員がいないため、警察・交通安全協会の協力が不可欠となっているが、交通安全協会の地域交通安全推進委員の人員確保にも課題がある。このため、交通安全教室等の実施回数を増やすことが困難であるが、交通事故防止のため、今後も啓発活動の継続が必要である。 ・各学校において、交通安全教室のカリキュラムの設定が難しくなっているが、当面の対応として、小・中学校の校長会で交通安全教室の開催を働きかけていく。 ・各幼稚園、保育園にも幼児からの交通安全教室の重要性を訴えていく。 						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 交通安全指導の実施回数	市民の交通安全意識を高める。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	回	48	48	48	48
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	2,924	2,947	2,924	0	
		人件費	10,875	6,960	6,960	0	
		合計	13,799	9,907	9,884	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	2,737				
		人件費	10,875				
合計		13,612					

施策を構成する事務事業

事務事業名	交通安全普及啓発活動の推進				課名	市民安全課	
指標	交通安全教室及び通安全大会など啓発事業の開催回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	18	目標値	52	単位	回	事業費(千円)	
実績値	18	達成率	34.62			正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	2,924
						実績値	2,737

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

警察や交通安全協会と連携して継続実施しながらも、実情に即した創意工夫が必要である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
警察、交通安全協会等と連携し、交通安全教室などの啓発活動を行い交通安全意識の向上、交通事故の防止を図る。	警察と市等が連携し、全国交通安全運動を基にした啓発活動を特に子どもや高齢者へ行うことが重要になっている。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
改善検討	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	安全な交通環境の整備	施策コード	63502	施策主管部課	市民生活部 市民安全課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	交通安全			関係課	道路課
	(3) 節の目的	交通事故から市民を守るため、交通安全意識を高めるとともに、安全な交通環境の整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市内の交通事故件数を減少させるため、道路管理者や警察などの関係機関と連携し、適切な交通規制の実施、交差点の改良やカーブミラーなどの整備を進め、安全な交通環境をつくります。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民			
どういう状態に		安全な交通環境が整備されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	・交通事故減少のためには、交通安全対策の専任体制が必要である。現在の人数は、防犯業務も含め会計年度職員を入れ3名であり、体制の強化が必要である。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 危険箇所共同現地診断での交通安全施設の整備数	安全な交通環境が整備される。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	箇所	2	2	2	2
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費		31,239	31,239	31,239
人件費			2,697	2,697	2,697	0
合計			33,936	33,936	33,936	0
(10) 実績値 (千円)	事業費		30,777			
	人件費		2,697			
	合計		33,474			

施策を構成する事務事業

事務事業名	交通安全施設整備				課名	道路課	
指標	交通安全施設工事完了率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	31,239
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	30,777
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
市民の要望等に基づき安全な交通環境を地域に提供する必要がある。							

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
交通事故多発箇所の改善や事故防止の注意看板の設置等、交通事故を未然に防止する対策を図る必要がある。	警察、道路管理者等が連携し、交通事故の未然防止、減少させるための現状に合わせた対策を講ずる必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
改善検討	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	市営住宅の改善と効率的な供給	施策コード	64001	施策主管部課	都市部 建築住宅課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	良質な住宅供給の促進			関係課	
	(3) 節の目的	公営住宅の供給・改善に努めます。また、バリアフリー等の住宅改造への支援や、住宅に関する総合的な情報提供をすすめるとともに、定住化を支える新たな住宅施策に取り組みます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	住宅に困窮する低所得者などに対し、安全で質の高い市営住宅を供給するため、老朽施設の改修、バリアフリー化の推進などを計画的に行います。また、市営住宅ごとの入居申込み件数を注視しながら、民間住宅の活用を視野に入れた、より広い枠組みの中で効率的かつ柔軟な供給を進めていきます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市営住宅			
どういう状態に		施設の良質化や安全性が向上しているとともに、効率的な供給がされている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	新たな市営住宅供給について、民間賃貸住宅の活用等、望ましい活用方法を検討していく。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市営住宅の平均入居率	住宅に困窮する低所得者等に対し、安全で質の高い住宅供給に寄与する指標であるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値		100	100	100	100
		実績値	%	88.1			
		達成率		88.10			
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	22,176	22,292	22,022	0
		人件費	26,100	25,230	25,230	0
		合計	48,276	47,522	47,252	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	22,002			
		人件費	26,100			
合計		48,102				

施策を構成する事務事業

事務事業名	市営住宅使用料調定及び徴収事務				課名	建築住宅課	
指標	当該年度住宅使用料徴収率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	98	目標値	98	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	97	達成率	98.98			予算額	316
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	316 7,830

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市営住宅使用料等は、市営住宅維持管理の財源として、重要である。今後も家賃徴収率の向上に努めていく必要がある。

事務事業名	市営住宅入居者管理業務				課名	建築住宅課	
指標	各申請受付件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	118	目標値	110	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	118	達成率	107.27			予算額	370
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	272 7,395

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

適正な入居募集と入居者管理を行っていく。

事務事業名	市営住宅維持管理業務				課名	建築住宅課	
指標	給水設備等点検、樹木剪定等、土地賃貸借契約の締結件数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	25	目標値	25	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	25	達成率	100.00			予算額	21,490
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	21,414 6,090

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

住宅困窮者へのセーフティネットとして、事業の優先度は高い。

事務事業名	市営住宅東我孫子電波障害対策用電柱共架施設の撤去				課名	建築住宅課	
指標	調査の結果、影響が無かった範囲の共架施設（電柱の本数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	22	目標値	22	単位	本	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0 0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

施策に貢献しており、今後も継続して実施すべき事業である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
①施策は効果的な手段となっている。 ②社会状況の変化に対応した内容である。 ③目標設定は妥当である。 ④入居者が安全・安心に暮らせるよう、適切な施設の修繕を実施している。 ⑤事業の性質から協働は考えにくい。 ⑥徴収事務を適正に実施することにより、適切な財源を得ている。 ⑦滞納整理の職員体制については、徴収一元化の推進及び必要な人員の配置が求められる。	①～④目標設定のため有効な施策及び事業である。 ⑤事業の性質から考えにくい。 ⑥徴収率をより向上させることにより、さらなる財源確保に努める。 ⑦滞納整理については徴収一元化推進とともに、体制の強化が必要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
①施策は効果的な手段となっている。 ②社会状況の変化に対応した内容である。 ③目標設定は妥当である。 ④施設管理や修繕の業務委託化や大規模改修など有効な事業を実施している。 ⑤事業の性質から協働は考えにくい。 ⑥社会資本整備総合交付金の活用等、適切な財源を得ている。 ⑦滞納整理の職員体制については、徴収一元化の推進及び必要な人員の配置が求められる。	①～④目標設定のため有効な施策及び事業である。 ⑤事業の性質から考えにくい。 ⑥社会資本整備総合交付金、起債の活用を進める。 ⑦滞納整理については徴収一元化推進とともに、体制の強化が必要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	住宅支援策の充実	施策コード	64002	施策主管部課	都市部 建築住宅課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	良質な住宅供給の促進			関係課		
	(3) 節の目的	公営住宅の供給・改善に努めます。また、バリアフリー等の住宅改造への支援や、住宅に関する総合的な情報提供をすすめるとともに、定住化を支える新たな住宅施策に取り組みます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	住生活に対する市民の多様なニーズに対応するため、住まいにかかわる相談窓口や総合的な情報提供を充実するとともに、若い世代の住宅取得や住宅リフォーム、液状化被害を受けた住宅等の敷地の有効活用、高齢者や障害者のためのバリアフリー化などに対する支援を進めます。また、市内への定住化を進めるために必要な住宅支援制度の充実を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市内外の人々				
どういう状態に		定住化につながる住宅支援策が充実している。					
(6) 施策実施上の課題と対応	住宅支援策について市内外へ広く周知を図る必要がある。広報あびこや市ホームページの活用、不動産事業者等への依頼、広報担当部署との連携などを効果的に推進する。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 住宅・不動産相談の実施件数	市民の住まいに関わる相談事について、専門家による相談窓口を設けることで住まいに関する不安を解消し住環境の向上につながる					
	② 住宅取得・リフォーム補助金の申請件数	転入者を含む市内の定住促進を進めるうえで、最も実数に近い、参考となる指標である					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	件	45	45	45	45
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値	件	555	510	510	510
		実績値		456			
		達成率		82.16			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	49,858	45,280	42,780	0	
		人件費	23,490	23,490	17,400	0	
		合計	73,348	68,770	60,180	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	44,545				
		人件費	23,490				
合計		68,035					

施策を構成する事務事業

事務事業名	マンション管理に関する支援事業				課名	建築住宅課	
指標	セミナー・個別相談会の参加団体数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	12	目標値	15	単位	団体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	14
						実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

分譲マンションの居住者等の関係者にとって、相談窓口としての重要な役割を担っている。

事務事業名	住宅・不動産相談及び住宅情報提供業務				課名	建築住宅課	
指標	住宅・不動産相談者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	30	目標値	46	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	2.17				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	4
						実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

市民の負担軽減につながる事業であり、情報提供などを常に拡充していく。

事務事業名	我孫子市増改築等工事施工業者紹介制度				課名	建築住宅課	
指標	申込件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	119	目標値	82	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	64	達成率	78.05				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	0
						実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

市民の負担軽減につながる事業として、必要な対応を実施。

事務事業名	災害支援補助事業(震災対応)				課名	建築住宅課	
指標	補助金申請件数(液状化補助金、利子補給)				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	5	目標値	6	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	16.67				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	縮小	予算額	1,012
						実績値	12
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

東日本大震災からの復興対策として、全ての事業終了までは対象者への周知をさらに推進するべきと考える。

事務事業名	住宅リフォーム補助事業				課名	建築住宅課	
指標	補助金の交付申請件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	202	目標値	224	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	213	達成率	95.09				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	20,034
						実績値	18,239
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

居住環境の安定と向上、また市内の建設産業の活性化などに繋がっており、有効な住宅支援策として引き続き内容の拡充を図っていく。

事務事業名	若い世代の住宅取得支援				課名	建築住宅課	
指標	交付申請数(平成31年度実績:446件)				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	446	目標値	331	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	243	達成率	73.41				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	22,605
						実績値	20,105
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

本事業は若い世代の定住化に必要な事業であるが、市の財政的負担を考慮しつつ、若い世代の定住化の促進に繋がる事業となるよう、見直しを続けていく。

事務事業名	災害支援補助事業(台風、地震等)				課名	建築住宅課	
指標	処理率(当該年度交付件数/当該年度補助申請件数)				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	その他	予算額	6,189
						実績値	6,189
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

令和元年台風15号、台風19号及び10月25日の大雨により被災した住宅に対し、修繕費用の一部助成することにより、再建支援を行うことができた。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
① 市民の定住化に向けて効果的な手段と考える。 ② 市民ニーズに適合していると考ええる。 ③ 目標設定は妥当と考える。 ④ 有効な事業を展開していると考ええる。 ⑤ 市民が主体となって良質な住宅を確保することを行政が支援するものであり、結果として協働と同様の効果を得ている。 ⑥ 財源配分は妥当と考える。 ⑦ 更なる業務増加に対して人員配置を強化すべきである。	①～④ 有効かつ妥当な施策及び事業である。 ⑤ 協働と同様の効果を得ている。 ⑥ 財源配分は適切である。 ⑦ 人員配置を強化すべきである。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
① 市民の定住化に向けた効果的な手段と考える。 ② 市民のニーズの一つとして、適合していると考ええる。 ③ 目標設定は妥当と考える。 ④ 有効な事業の一つとして、展開していると考ええる。 ⑤ 市民が主体となり、良質な住宅を確保することを行政が支援していることで、考え方によっては協働と捉えることができる。 ⑥ 事業への財源配分は適切と考える。 ⑦ 人員配置は適正と考える。	①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤ 行政が実施すべき施策である。(市民の取組に対する行政支援) ⑥⑦ 財政配分、人員配分ともに適正であった。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	誇りと愛着を感じさせる魅力あるまち並みの保全・育成	施策コード	65001	施策主管部課	都市部 都市計画課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	魅力あるまち並みの実現			関係課	
	(3) 節の目的	心を豊かにし、まちに誇りと愛着を感じさせる魅力ある景観を保全します。また、地区の個性をいかし、調和のとれた優れた景観の創出をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が我孫子市の景観に誇りと愛着を感じられるよう、魅力的な景観ポイントや市民の優れた景観活動などの情報発信を進め、景観づくり市民団体などと協働して啓発事業を実施します。また、魅力あるまち並みの保全・育成を図るため、地域の景観づくりに携わる市民団体や地域住民、事業者とともにハケの道の沿道緑化などに取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民			
		どういう状態に	魅力あるまち並みを保全・育成する意識が高まっている			
(6) 施策実施上の課題と対応	景観形成情報発信・啓発イベントの実施にあたり、若い世代をはじめ、幅広い世代に参加を促すための手法を検討する必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 景観形成情報発信・啓発イベントの実施回数	景観に対する市民の意識の高まりを示す指標として、景観形成情報発信・啓発イベントの実施回数を設定した。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	回	4	4	4	4
		実績値		4			
		達成率		100.00			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	247	251	251	0
		人件費	7,830	5,655	5,655	0
		合計	8,077	5,906	5,906	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	227			
		人件費	7,830			
合計		8,057				

施策を構成する事務事業

事務事業名 景観ポイント整備・誘導					課名	都市計画課	
指標	市民団体によるハケの道沿道における植栽活動の支援回数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	3	目標値	3	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	3	達成率	100.00			予算額	41
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値
						21	3,915

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

景観ポイントの整備は、我孫子市の景観の魅力を高め、市民の景観に対する興味・関心の喚起や市外在住者へのまちのPRに寄与するものである。

事務事業名 景観形成情報発信・啓発事業					課名	都市計画課	
指標	「我孫子のいろいろ八景歩き」の実施回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	4	目標値	4	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	4	達成率	100.00			予算額	206
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値
						206	3,915

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

良好な景観を保全・形成することの意義や重要性を市民等に広めていくことは、景観形成の推進において非常に重要であり、様々な媒体・ツールを活用しながら今後も継続していく必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
誇りと愛着を感じさせる魅力あるまち並みの保全・育成を図っていくためには、本施策に基づいて、市民や市民団体と協働しながら、ハケの道の修景や景観意識の向上に繋がるイベントの開催等によって、市民への啓発を進めていくことが重要である。	誇りと愛着を感じさせる魅力あるまち並みの保全・育成を図っていくうえで重要な施策であり、市民や市民団体と協働しながら進めていく。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
引き続き、魅力的な景観ポイントや景観づくり市民団体の活動等の情報発信を通して、良好な景観形成の重要性や必要性について市民への啓発活動を進めていく。また、ハケの道沿道の緑化修景やオオバン通り沿道に試験植樹した樹木の経過観察等を、市民や市民団体と協働で進めていく。 市民団体と協働で企画・実施している「我孫子のいろいろ八景歩き」は、参加者から好評を博しており、景観に対する意識啓発に効果を発揮していることから、今後も継続する必要がある。	①～④ 部の運営方針、課の目的達成に効果的な施策である。 ⑤ 景観づくり市民団体に認定されている「我孫子の景観を育てる会」をはじめ、市民団体と協働で各事業を推進した。 ⑥⑦ 節の目的を達成するため、現状の人員配置を維持し、引き続き各事業に取り組んでいく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	地区の個性をいかし、調和のとれた優れた景観の創出	施策コード	65002	施策主管部課	都市部 都市計画課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	魅力あるまち並みの実現			関係課		
	(3) 節の目的	心を豊かにし、まちに誇りと愛着を感じさせる魅力ある景観を保全します。また、地区の個性をいかし、調和のとれた優れた景観の創出をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	地区の個性をいかし、調和のとれた景観を創出するため、景観アドバイザー制度などを活用しながら、景観計画区域内行為の事前協議・届出を通じて、民間建築物などの景観誘導を進めるとともに、公共事業では先導的な優れた景観づくりを進めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	民間の建築物等や、公共施設及び公共サイン				
どういう状態に		調和のとれた優れた景観づくりが行われている					
(6) 施策実施上の課題と対応	民間事業や公共事業にとって適切なタイミングで景観誘導を行うことが重要であることから、庁内関係課との連携を密に行う必要がある。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 景観誘導協議合意率	施策の目的・展開方向にある建築物などの景観誘導の成果を示す指標として、景観誘導協議合意率を選定した。					
	② 公共事業の景観形成基準への適合率	施策の目的・展開方向にある公共事業が先導的な優れた景観づくりを進めている指標として、公共事業の景観形成基準への適合率を選定した。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100			
		達成率		100.00			
	②	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100			
		達成率		100.00			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	4,899	5,062	5,137	0
		人件費	8,265	8,700	6,090	0
		合計	13,164	13,762	11,227	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	4,773			
		人件費	8,265			
合計		13,038				

施策を構成する事務事業

事務事業名	屋外広告物の許可申請事務				課名	都市計画課		
指標	違反広告物の簡易除却件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	1,331	目標値	1,200	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	507	達成率	236.69			予算額	2,523	2,175
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,485	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

屋外広告物法や千葉県屋外広告物条例、我孫子市景観条例に基づく事業のため、今後も継続する必要がある。

事務事業名	景観計画区域内行為の景観誘導				課名	都市計画課		
指標	景観誘導協議済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,332	3,915
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,266	3,915

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子市景観条例及び我孫子市景観形成基本計画に基づく事業であるため、事業の優先度は高い。

事務事業名	公共事業における景観誘導				課名	都市計画課		
指標	景観誘導協議済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	44	2,175
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	22	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

多くの市民等が利用する公共施設は、我孫子市の景観を印象づける重要な要素の1つであり、良好な景観形成のため、公共施設の景観誘導を引き続き実施していく必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
地区の個性を生かし、調和のとれた景観を創出するためには、本施策に基づいて、景観アドバイザーを活用しながら、民間建築物などの景観誘導を進めるとともに、公共事業において先導的な優れた景観づくりを進めていくことが重要である。	地区の個性を生かし、調和のとれた景観を創出していくうえで重要な施策であり、景観アドバイザーを活用しながら進めていく。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
調和のとれた景観の創出や魅力あるまち並みを保全・形成するため、引き続き、景観アドバイザーを活用しながら民間建築物等の景観誘導や公共事業における先導的な優れた景観づくりを進めていく必要がある。	①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った、節の目的達成に効果的な施策である。 ⑤ 法律や条例等に基づく誘導が主となることから、協働には該当しなかった。 ⑥⑦ 節の目的を達成するため、現状の人員配置を維持し、引き続き取り組んでいく必要がある。
改善検討	
<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向